京城日報

(年中無休刊)

本紙定價 一部金參錢 一箇月七十五錢▲郵稅 六箇月前金 拾貳圓 一箇年同 ...
廣告料金 五號十四字詰一行一圓五十錢 特別二號 ...
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
京城太平通一丁目 發行所 合資會社京城日報社
電話番號 長六千九番 長六千九〇三番 振替京城三〇三番

七月十四日夕刊 (朝刊併せて八頁)

刺戟されし獨國民

愛國心翕然として勃興す

獨逸には目下國民主義旺盛なり國民主義を興起せしめたるは主として聯合國の前獨帝引渡の主張にして前宰相又はヒンデンブルグ將軍等が何れも身代りとならん事を提言せる事は甚だしく民衆の愛國熱を煽り國民を感激せしめ國內到る所各種教會は前獨帝及び獨逸を此屈辱より免れしむ可く保護せんと務めつゝあり(伯林電報)

前獨帝引渡問題

ボナーロー氏は下院に於ける質問時間中述べて曰く聯合國は今日迄未だ正式に和蘭に對し前獨帝の引渡しを照會したることなきも必要の處置を取る筈なりと(倫敦電報)

聯邦條約に贊成

獨逸聯邦委員は平和條約批准に贊成せり(伯林電報)

支那對時局窮策

聯合國より拒絶せられん

支那は對墺講和條約に調印し之れにより國際聯盟に加入し以て國際的孤立の窮地より免れんとせる由なるが支那が對獨條約に調印せずして對墺條約に調印するは單獨講和の性質に屬し聯合國は斯る我儘を斷じて容認せざるべく結局聯盟に加入する能はざるべし之れが爲め支那は益々窮地に陷り非常なる不利益を招くべしと(香港電報)

侯男十九日出發

西園寺侯牧野男は目下倫敦に赴き英國皇室を訪問して敬意を表し居れるが十七日頃佛國に歸り隨員と共に十九日巴里發歸朝の途に就くべしと(香港電報)

米國上院の形勢

對獨講和條約批准は困難乎

米國政府上院は十日上院に對獨講和條約及米佛同盟條約を提出する筈なるが兩條約に對する上院の形勢は依然として共和黨は勿論大反對あれば、條約批准は困難なる形勢にあり(紐育電報)

米國金輸出自由

英國も亦解禁せん

米國政府は七月五日より金塊(金貨を除く)に對し輸出の特許制度を廢しその輸出を自由となすに決せりとコハ要するに講和も既に成立したるを以てその輸出を自由とし對外爲替關係に於て有利の地位を占め紐育市を世界金融市場の中心たらしめんとするにあるべく英國も之れが對策上近く金銀の解禁をなすに至るべしと(紐育電報)

濠洲大罷業企畫

十日濠洲メルボルン市トレース、ホールにて勞働組合代表者の聯合會議開催され之が爲め濠洲全國に亘り總同盟罷業を執行すべしとの決議を爲せり即ち各州に亘り石炭坑夫鐵道機關手人夫仲仕の一大同盟を組織し以て勞働階級の勝利を企圖するものなるも右に對し聯邦政府は對抗策として勞働仲裁法に據り會員組合の理事等を仲裁々判所に起訴したり(ワイヤー電報)

駐日米大使オムスク行

駐日米國大使モーリス氏は近くオムスク政府と借款條件を協定の爲めオムスクに行くべし(哈爾賓電報)

支那聯盟加入案

外交部よりの消息に據れば國際聯盟加入の際支那が提出すべき要件左の如し

(一)治外法權撤回(二)關稅修正(一)對獨條約調印と山東問題(二)膠州租界及び庚子賠款收管(一)海外航權發展計畫

以上は夫々細目に分ち說明書を附するものにして其等は近々編製に着手すべしと云ふ(北京電報)

西藏交涉下準備

西藏問題に關し支那政府は對英交涉參考の爲め委員二名を派遣して實地視察を爲すべく目下委員人選中の由なるが又總統府に於て近々特別藏務會議を開催し交涉辦法に就き討議する豫定なりと(北京電報)

孟將軍來長見合

形勢の轉移豫測すべからず

十三日午後八時來長の筈なりし孟恩遠氏は遽に來長を見合せたりとの報あり其中止の事情は判明せざるも尚ほ續々部隊及び兵器彈藥來着すると共に之を各方面に向け盛んに轉發しつゝありて十三日朝哈爾賓より步兵五百名馬匹八十砲八門及び彈藥軍需品多數到着し又午後に至りては吉林より兵四百名彈藥軍需品等來着し城內に入りたる等形勢混沌として將來を豫測するを得ず(長春特電)

張督軍對孟策

信ずべき筋の消息に據れば吉林の戰備汲々たるに一方張作霖氏が滿を持して動かず態度頗る冷靜なるは常さへ財政窮乏の吉林省も軍隊の召集移動に由り費用頗る莫大にして近々遂に進退兩難に陷るべきを豫想し機を見て一大高壓を加へ吉林强硬派を一掃せんとする策略なりと尙目下專賣上吉林省が奉天に對抗し得る期間は極て短時日なるが如く孟恩遠氏は近く吉林退去を餘儀なくさるゝに至るべし(奉天特電)

警備巡警引上

四月下旬以來特に警備の爲め間島及び琿春地方に派遣せられ居たる二大隊の巡警は今回孟督軍の電命に依り其一部は引上げを開始し十二日百名の巡警は局子街發吉林に向へり一說に依れば右は吉林の警備に備へんが爲にして引續き引上の豫定なりと(間島電報)

避難市民續出

十三日長春城內は兵士の來往頻繁を加へつゝある外別に變化を來さず表面平靜を持續し居るが滿鐵附屬地に避難する者益々多く城內支那遊廓中一二流の家は附屬地支那旅館へ又三流以下は附屬地支那遊廓に入り城內婦女の殆ど全部は何れへか避難し各戶消燈して休業の狀態を呈し滿鐵列車にて家族を南方へ避難せしむる者多し(長春特電)

獨逸戰後計畫

彼等の語るを聞け

東京に通信員設置

獨逸は戰前に於て世界各地に亘り政治、商業、學術其他萬般の調査及び通信機關を具備し緊密に亘りてまで細大洩らさず收拾に努め以て直接間接大戰爭の遂成に資したるは

周知の事實 にして後には聯合側をして其深酷なる用意に驚嘆戰慄せしめ聯合國の離間策等あらゆるプラパガンダを行ひ獨逸をして心臟を寒からしめたるが平和後の獨逸が依然同樣の惡辣なる手段を以て盛んに宣傳運動を全世界に行ふと同時に經濟戰に備ふるため諸般の通信網を張るべきは今より推測するに難からざる所也、現に最近獨逸よりの消息に據れば獨逸の

多數社會黨 は平和克復後直ちに國際的新聞通信機關を設立する計畫なりとあり、六月十三日ワイマールに開かれたる同黨大會は同日の會議に於て殆ど滿場一致を以て右計畫を可決したるが其による時は東京及び北京其他世界の中心地に特別通信員を置くべしとの事なり、是は新內閣成立前の決議なれど多數派社會黨は新內閣の組成分子なれば必ずや此の畫策を實行すべく殊に注目すべきは米國

日本及支那 を特に指名しある事なり、之に關し社會黨の言ふ所を聞くに彼等は其出所も據り所も知れずして時々獨逸新聞紙に現はる・報道に依賴する能はず蓋し是等の事たる世界各地に於て吾にとり密接なる利害關係を有するものなるを感ずればなりと云へり以て彼等の意向の那邊にあるやを知るべきなり(東京)

佛蘭西國祭日

十四日は佛蘭西共和國々祭日に相當するより京城駐在同國副領事ガロア氏は午前十時より十二時迄の間に於て一般の祝賀を受けたり

地方派兵交代

各地に分散配置の守備兵は第二期檢閱終了部隊と交代する事となり十五日龍山、汶山、仁川、富平、汶山、長湍、開城等より龍山に歸還する騎兵隊すべく又新に分散配置に就任すべき部隊は十五十六の二日に亘り龍山驛より乘車任地に出發すべしと

水田一方里三圓

有望なる蒙古の水田經營

岩村領事談

鄭家屯領事より南京領事に榮轉せる岩村成充氏は家族と共に此程朝鮮通過東上せるが氏は語つて曰く『鄭家屯は所謂

鄭家屯事件 を生みて以來兎角物情騷然たるかの如くに見做され排日なども他の地より猛烈と想像され居る傾きあるも事實全く然らず該事件の圓滿なる解決を告げ相互間十分の諒解ありよく融和し居るため排日などその氣勢だに認むるを得ざる狀態にあり余が出發に際しても官民態々見送り非常なる好意を示したり四鄭線の延長たる鄭家屯洮南府間百二十哩の線路工事に及び

鄭家屯より パインタラ方面に至る五六十哩の線路は目下測量中にして要する費用は借款により近々調印を了し直ちに工事に着手し二三年後には完成の豫定なり本線開通せば奧地よりの物資凡て鄭家屯に集まり鄭家屯は將來非常なる殷賑を呈すべし蒙古水田は本年より開始し苗植付けをなす可きが土地は遼河の上流にて將來頗る有望なり今後灌漑耕作に努めば數年後に於て一千萬石の收穫を見るべく之により

米價問題等 も緩和さるゝに至らん從來水田事業は閑却せられたる傾向ありしも事業開始と共に何れもその有望なるを知り或は日支合辦により或は單獨に盛んに土地を買收し居れるが蒙古は一方里を單位とし一方里三圓といふ安き相場なり蒙古獨立運動と云ひセミヨノフの蒙古王たるべしなどの風說は策士連が政略的に流布せる根據なき說にて一文の値なし鄭家屯領事館の建物は近々上棟式を行ひ來十月に竣工の豫定なり』云々

吉林借款

目下中絕狀態

吉林省財政整理借款は朝鮮銀行と東洋拓殖會社との合同の上貸附くる事となりたるやう內地の電報は報じ來れるが右は同省財政部より相當擔保を提供するの條件にて借款の申出ではあり鮮銀並に東拓にても全く一顧もせずと云ふにはあらざれど目下孟吉林督軍對張奉天督軍の對峙政爭あり滿洲の風雲不穩を示し居る際とて到底我資本團と吉林省との間に借款談の進行を見る如き事は思ひもよらず從つて朝鮮銀行東拓の間に於ける合同貸附協調も全く進むべき時期に非ず假りに今後に於て同問題の具體化ありとするも風雲の鎭平後なるべく今日の所殆ど中止狀態にありと

京漢線復舊

客車運轉休止中なりし支那京漢線は今般復舊したるを以て京管局にては朝鮮線との連絡旅客並に小荷物の取扱ひを開始すべしと

內地炭大移入

朝鮮內に於ける撫順炭供給減少の結果滿鐵は松昌洋行と協定の上開平炭を多量に輸入すべしとの事なるが同炭は火力旺盛にて持久力ありとの事なれど燃燒力旺盛の撫順炭及び內地炭の使用に慣れたる土地にては燃へ附きの惡しき事は開平炭に對する有力なる苦情たり工場並に個人用炭を開平炭となす點に於て諸設備を改むる如きも厄介視されつゝあり旁內地炭に對しては相當の需要あるべき模樣なるが

此點に着目 せる京城有力實業家後藤千七郎氏は京城藏內礦業所と特約の下に月額一萬二千噸を限度とし內地炭を移入せん計畫にて京仁地方にも七月下旬より荷を企圖し既に貯炭所の準備を進め著々實行の步を進め中販賣店の如きも近く決定すべしと

期米四十圓臺

仁川期米の新高値

內地朝鮮を通ぜる米穀飯市場の正米不足と出廻り減少並に貯米筋の買惜みとは正米を漸次硬化せしめつゝあり殊に朝鮮米に對する內地の買進みは熾烈のものにて高値を厭はず各地に亘りて買約を敢行しつゝあり一例を擧ぐれば十四日京城某精米商は大阪沖著白米四十八圓の手合せを行ひたる由にて右は京城相場に換算すれば四十五圓七十錢に相當せり要するに各地の正米高は仁川期米を著しく刺戟して買氣旺盛となり十四日大阪の寄附きは三十六圓等六錢東京三十七圓三十六錢の暴騰を報じたるより仁川の出來値又暴騰し中限は四十圓てふ未曾有の高値を出し先限は三十九圓五十錢を寄り安値とし、高値二十九圓九十錢殆んど四十圓臺を摩せんとし八十四錢にて打止めたるが目下の形勢より見れば一般に強硬の成行きを示して先高は高値あるべく何等か弱材料出でざれば硬勢の緩和は望まれざる如し

砂糖依然强硬

暴落說虛報

砂糖は十三日午後十一時當地某所に精糖七八圓方暴落の入電ありとて當地各當業者は一時狼狽の氣味ありて夫々照電の結果從前より强氣配との返電に接したるを以て精糖は依然四十七八圓を唱へ居れり暴落の入電に就ては賣崩し等の意味あるものには非ざる如く或は分蜜糖の低落ありたるを以て精糖も一時的暴落し跡に復したるものか又は精糖の低落を見越して打電したるものなるべしと云ふ

取引所手數料

十四日後場より引上

仁川取引所の賣買手數料は既報の如く十四日後場より實施を見たり何分從來百石につき三圓仕拂ひ一圓五十錢のものが倍額の六圓と仕拂三圓と改定さる・のにつき引上後の商內高は激減を來すべしとの觀測と必ずしも然らざるべしとの所見あり此の兩個の異なれる意見は頃來仁取關係者が多大の注意を以て出來高の實績を知らんとし居れる點なるが無論今後の出來高が昨今の如く東京大阪の市場を凌ぐ事はあらざるべきも事實大したる影響なく殊に近く仲買人も增員さるゝにつき同所の實質は益々有望となるにあらずやとの觀測多き如し

金市價區々

金價は米國の解禁後下押しを續け居れるが帝國に於ては未だ金の禁輸を解かざるため全く平價に復したりとは見得られざる點あり又朝鮮にても高値時代の手持品を少からず有せるものあり旁々市價が匁五圓に落ちたりとは見得られず實際の取引は多少上値を示し居れど平價にて買金を入れんとし居る點より見れば金の市價の現況が果して那邊にあるかを知り得らる・如く少くも今後は現在より昂騰する如き事は萬なからんと

間嶋米作有望

在間島道滿領事館分館の調査によれば間島の農作狀況左の如し

旣墾水田 東西に走る海蘭河北一帶の平地面積は約三萬七百二十二町步にして內可耕地は一萬九千九百七町步を算し此等一帶は灌漑の便あり且つ地質亦良好なる爲め近年水田事業著しく增加しつゝあり前年迄の旣墾水田面積は約七百二十餘町步なりしが本年は一躍千百十六町步を算し約四百町步增加せり而して頭道溝地方は將來間島唯一の米產地となるものゝ如く居住者は勿論新移住者も水田に著目しつゝあり

收穫高 前年收穫高は約二萬四千石なりしに對して本年度の豫想高約三萬七千二百石にして一萬四千二百石の增收となり從つて今秋の米取引は一層活氣を帶ぶる氣配あり殊に本年の成績良好にして遲くも九月中には刈入の運びとなるも氣候風土の變遷著しき間島なれば收穫迄當業者の憂慮は想像以上なるが如し米質は風味佳良にして內地米と大差なく一般に歡迎せられ居るを以て本年は赤毛小田代等種類の栽培益々增加の傾向有り

販路及値段 地米は主として當地に於て鮮人間に取引せられ陰曆四、九日の市日は出廻り頻繁にして當日龍井村方面より買取りに來るもの多し而して昨年迄は當商埠地內居住鮮人の如き粟食者多數なりしが米の出廻り增加に伴ひ米食する者著しく增加し目下は埠內鮮人の過半は米食を爲しつゝあるものゝ如し尚ほ昨年迄は多少日本米(鮮米)の輸入を見たるも現在は全く其輸入を見ざるに至れり目下當地市價左の如し

上等(小田代)本邦一石		三十八圓
中等	同	三十五圓
普通	同	自三十一圓至三十三圓

京城現株市前途

全鮮有力者を發起人とする京城現株市場の計畫はその後發起人に於て數回當局を訪問して諸種の質疑に應じ略ぼ了解を得たるものゝ如きが然も色々の關係上會社の設立許可は八月中旬以後ならん

仁川在米數量

仁川米穀檢査所より總督府への報告に據れば仁川に於ける七月十日現在の在米數量は七萬二千四百六石なりと

騎兵隊行軍

龍山騎兵隊にては十五日師團長の隨時檢閱終了に付來る二十一日未明營門出發齋藤隊長指揮の下に四小隊を編成し仁川及び金浦に向け二泊行軍を實施すべしと

平昌自動車運轉

滿鐵京管局直營平康長安寺間自動車の外朴贊晞個人經營の自動車は今回平康昌道間運轉を開始したるが發着時刻は平康發午前六時半昌道著午前八時昌道發午前八時半平康著午前十時にて大人一人片道賃金三圓六十五錢定員は六名なりと又昌道長安寺間は貸切り若くは五人以上の乘客ある場合に限り臨時運轉する事に決定し是が賃金は片道六十圓大人一人片道賃金九圓五十錢なりと

十八銀行總會

長崎に本店を有する十八銀行は本月二十八日午後二時同行に於て定時株主總會を開催し第八十四期營業報告其他の計算書及び長崎縣西彼杵郡茂木村に支店開設の件株式會社口ノ津銀行合併の件資本金五十萬圓增加の件口ノ津銀行合併に基き同行より持込利益金處分の件等を決議すべし

釜山運輸增資

在釜山海陸運送取扱及び商品買賣並に商品委託販賣業を目的とする釜山運輸合資會社は從來資本金一萬圓なりしを今回金五萬圓に增資するの件は豫て其筋に申請中の所七月十日附を以て許可されたり

佐官陞叙

步兵第七十八聯隊附長彼新八中佐步兵第七十七聯隊附三等軍醫正天野一磨氏步兵第七十八聯隊附三等軍醫正松山俊三氏師團參謀佐藤榮樹中佐は今回勳四等に叙し瑞寶章を授けられ又軍司令部法官部長石田氏幹氏及び兵器支廠長山出興吉中佐は從五位に叙せられたり

谷村大佐陞叙

平壤步兵第七十七聯隊長谷村定規大佐は今回勳三等に叙し瑞寶章を授けられたるを以て近く淨法寺師團長同地に出張勳章授與式を擧行すべしと

豐永博士辭職說

總督府中央試驗所長兼京城工業專門學校長農學博士豐永眞里氏は近く辭任勇退す可しとの說あり又一說には博士は九州農科大學長に榮轉に決定せる水原勸業模範場長本田博士の後を襲ひ同場長に轉ず可しとなす者あるも高踏勇退す可しとの說眞なるが如し

參謀次長來期

西伯利視察を終へ目下南滿洲視察中の福田參謀次長一行六名は二十日朝來城二十二日朝十時出發歸東に決定したり

代議士團通過

西伯利視察中なりし東武氏外十二名は十四日安東縣發列車にて南下したるが其筋に入電ありたれば京城通過は十四日夜となるらん

○**上田黑潮氏入城** 這回釜山日報主筆に新任せる上田黑潮氏は就任挨拶の爲め十四日朝入城南尾旅館に投宿兩三日滯城すべしと

群山商報發行

群山の有志林、大溝、橫山、楢田、森、牛尾の諸氏は近時群山が米の港として世に知られ其の發展著しきものあるに鑑み之が紹介機關として模範の雜誌を發行することに決し代表者牛尾氏は此の程入城一般有志の賛助を求めつゝあるが第一號發行は本月末頃なるべしと因に發行所は群山明治町群山印刷株式會社內なりと

人事消息

▲井戶川辰三氏(平北旅團長) 十四日朝退城

▲龍平源藏氏(龍平商店主) 當地支店業務監督の爲入城中なりしが十四日內地へ

▲池田商銀營業課長 十三日夜二週間の豫定にて內地に旅行

▲白田久內氏(代議士) 十四日朝過釜山へ

▲松永榮耕氏(步兵中佐) 步兵第七十九聯隊第二期檢閱視察の爲め十三日夜來城旅行社に滯在中

▲大塚常三郎氏(總督府參事官) 十四日朝釜山上陸十時急行にて北行赴任(釜山特電)

▲工藤壯平氏(總督府總務課長) 旣報の如く十三日午前十時發列車にて鄉里岡山縣に歸省

▲野坂直次氏(總督府事務官) 十一日出發金剛山へ趣きたるが二十日頃歸城の筈

八面鋒

◆調印拒絶の支那は早くも責任轉嫁爭ひにて何とか埒が明かぬか支那は雅地耐上の大國にして而も外交上には寸減るにや

◆或は此の上飄輩より睨を飛び出させん奇術を演ぜん積りか

◆夢想だに調印拒絶を豫想せざりし何處かの方々に取りては

◆日支提携の標語が餘に緩慢なる由取りを試みたる感あらむ

◆進英徐總統が馬が牛に乘り換へんとするが如き並策の結果

◆調印拒絶の曲藝を追認せんやに見ゆるは益々以て變妙の極

◆これから以上何う變轉するか恐らく御當人にも分らざる可

◆逆轉したる日支提携が更に逆轉すれば元形に復すと見るか

◆短氣に甚氣多く共憂の因は呑氣に眺むる御隣の爺こそ聞拔

◆獨逸の君主主義は勃然として其勢力却て侮る可らざる如し

◆獨逸が死力を盡して五年の大戰を敢行せしも帝王中心に基く

◆獨帝崇拜代理者の簇出も亦獨逸魂の發露にて寧ろ武士的

◆口に正義人道を高唱して實に邪劍を振ふ非人道とは天地差

◆獨逸將來の恐れらる・處即ち此獨逸魂の末消滅に存する也

◆張孟兩督軍の睨み合は例に依て聲を大にして大分電報賑ふ

◆孟督如何に立腹するも張督は角力に成らず怒る丈けが損だ

◆攝得にかけては人一倍勘定の早き孟督容易に動かぬは當然

◆張督奉天に在て孟督の通信を沒收し獨り苦笑する却て惡辣

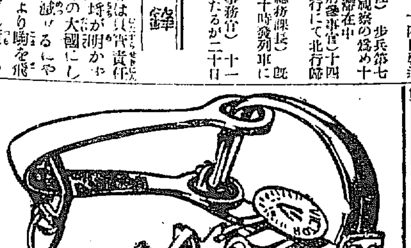
◆如何に孟督とても此際少しく力んで見ねば顔が立たざる也

◆但路賃買店に惡官帖を亂造する孟督何ぞ奇術を弄すか知ら不

鷄飼養獎勵 收益多大 產卵鷄一ケ年三百以上 孵化器 賣約 鷄用食料 進物用 保險書付 詳細五錢郵券送れ
京城南米倉町市場 岩城商會養鷄部

▲鳥致院 忠州間復舊
先般來鳥致院忠州間自働車水害の爲休止致居候處本日より復舊仕候尚京城方面の御旅客の便利を計り弊店に於て切符發賣仕候間御用命願上候
京城南大門通三 電話一〇一番
織居自働車部

株式會社大塚工場製鑛山機械及鑛山用品
各種爆藥 鑛山機械 導火線 雷管
鑛山機械火藥
イト諸機械 軌條 チルド車輪 鑛山用金物 杵先 杵嵌 クラッシャー 齒板 八角鋼
京城太平通二 電話二五一九
藤野商會



けものとるきかい
米國製捕獸器
鼠鼬の類よりどんな大いな獸類でも容易に捕れます是非一度御試し願ます
雉子尾又は栗虫の巢高價買入仕候
說明書定價表は郵一錢切手次第送呈
直輸入發賣元 橫濱市住吉町一丁目(公園前)
吉川米次郎商店輸入部
振替東京一四一二〇五番 電話本局一三二六番

小兒科諸大家實驗推薦
母乳代用 完全哺育
PERFECT FOOD FOR INFANT
キノミール
本品は乳兒の作成分構成上必要なる各要素を完全に包含し病兒、健康兒何れに用ふるも著るしき良好の發育を見らるべし
說明書進呈
各藥店食料品店に有之
和光堂

御進物やおみやげは
名菓 金剛山に
金剛飴
殊に內地には……
電話 二十七番 四七五番
京城本町
龜屋商店

佛國領事館の共和記念祝賀 中央ガロアー領事、其の左は松永京畿道長官

共和記念日を迎へて 歡溢るゝ佛領事館

『隧道工事の爆發が百一發の祝砲だ』とガロアー氏のニコ〱 涼しい丘上で主客乾盃

今日ぞ佛蘭西共和國記念祭、當て十日である、五年に亘る歐洲大戰も終局を告げ平和克復後始めての喜ばしき此佳辰に際し蛤洞の佛蘭西領事館に領事ガロアー氏を訪ふと「今日は祖國の

共和樹立の 記念日である、大戰中は遠慮して殆ど祝祭も型ばかりでしたが今日は平和記念を兼ねてやる考へです先づ午前十一時から總督府、各國領事其他官民の祝賀をお受けして共に此佳辰を祝福致ます、室內は暑いので態と新綠に包まれた此山上の亭で祝杯を擧げる事にしました」

祖國では 非常な喜びで此銘記すべき記念祭を平和克復祝賀の意味と併せて盛大に行ふ筈です」と白い制服姿のガロアー氏は滿面に微笑を湛へて語つた、時辰が十一時を指すと金谷府尹の顏が見ゑた續いて佛蘭西教會の長老達が黑い僧服に十字架の頸飾を輝かしながら來るお互に喜びに滿ちた

堅い握手 を交す、ガロアー氏は叉語を續けて『暴風雨と云ふ警戰があつたので長老達は昨日から晴雨計ばかり氣にして快晴を祈つて居られた相ですが幸ひに今日は此快晴です、此處は山上で少し御迷惑ですが其代り涼しく見晴らしが善いのです、今日は禮服を止めて白い服と云ふ事にし

肩の凝ら ないやうにしました、私も此通り白服です……アノ隧道工事の爆音が恰度百一發の禮砲です百一發に頼んだのですが乾度數が尠いでせうハツハツヽヽ』と繼て主客立つて乾杯し祖國の爲に祈つた、十一時過ぎてから祝賀の各國領事總督府の高官其他官民が車を列ねて來た、深綠蔽る領事館內は祖國の

三色旗で 美しく飾られ正門から續いた樹立には三色の鬼燈提灯が吊られ更に山上頂事館旗翻る亭は特に美しく飾り立てゝあつた。午後五時と七時の二回に在留佛人其他で盛大な夜會を催す筈

陸軍飛行機 模擬戰 今秋帝都の空にて擧行

航空隊にては今秋九月、十月の交に於て本邦有史以來の大壯擧を敢行する大計畫あるやの噂あるが右は目下各務ヶ原飛行場及び三方ヶ原爆擊班、新居大正濱射擊班に於る佛國飛行將校指導の高等

飛行練習 完了を待ち爆擊班射擊班へ出來得る限りの飛行機を集合し彼の戰鬪用大型飛行機ブレーゲー機を始め、驅逐用ソッピース其他數十臺に各專修員搭乘一時に飛翔し所澤飛行場へ向ひ東海道筋を雁行し帝都の上空を中心として

數十の機 は高等飛行練習より得たる最新飛行術を以て玆に壯快極まりなき空中戰鬪の模擬戰を擧行し帝都市民に對し如何に航空隊の偉力の絕大なるかを示し所學に到著する手筈にて目下最高機關に於いて衆議中の由

敵前動作 月下露を踏んで 二日間演習

步兵第七十九聯隊では第二回檢閱を女安島附近で實施すべく計畫中の處先頃の洪水以來不備の點も尠くないので豫定を變更し今十五日及び十六日新練兵場附近を中心として二日間夜間演習を實施する事とした前哨を張つて敵前動作を取り各所で斥候の小衝突あるべく月下露を踏んで富塚聯隊長は是を閱すべく右見學の爲め大邱步兵第八十聯隊より松永中佐も來城滯在中である

露國 中流民の窮狀

良家の婦女がパンの爲め 支那人の妻妾とまでなる 砂金一匁と砂糖二斤の交換

イルクツクより歸來せる三井物産調査員岩田七郎氏の土産話に曰く

留の下落 物價の騰貴で露國民の困憊はその極に達し殊に中流民の窮狀と來たら甚だしく服裝などこの二三年前と丸きり變り相當の紳士が破れ服に破れ靴を穿き夫人はボンネットなど被つて納まるものは見當らず何れも

更紗の布 を頭に巻帽子代用にしてゐるなど氣の毒な程である、良家の婦女が生活費を得る爲め節操を賣り支那人の妻妾になつてゐるものなどザラにありそれに家賃は上がりイルクウック邊で六疊敷位の部屋を借りるにも

月二千留 といふ法外な賃料で之れとて容易に手に入らず郊外にバラツクを作り雨露を凌いでゐる官吏もゐるといふ有樣でその快よさと來たら兎てもお話にならない、人は只食ることにのみ追はれ生活費を得るためには凡てを

犧牲とし てゐる、予の知れる貴婦人は虎の子のやうにしてゐる總ダイヤ入の指輪を予に示し是非買つて貰ひたいと泣き付き仕方なしに八百圓で買つたが此指輪など時價二三千圓すると云ふ事だ、滿洲里からオムスク一帶に亘り近來

物々交換 が盛んに行はれ砂金一匁と砂糖二斤、獵の上等の毛革と砂糖十斤の割で交換され凡て物々交換をやつてゐるが露國民はこの狀態に困し恰もアラスカかカムチヤツカの北方と同樣なりと云つてゐる、砂糖が

一番缺乏 してゐるので之を持つて行けば砂金が得られ金屬製品も手にすることが出來綿ネル靴何でも生活上必要なものは露國の毛革とか金屬類と交換され最近西伯利亞の奥は元始時代に逆轉したやうな感じがあると云々

地方の鮮民は斯くまで 憲兵を信賴してゐる

內地の新聞雜誌に恁んな謬說が傳へられてゐる 某憲兵將校談

數日前憲兵警察官署の被害數非に憲兵警察管內の官公署民家等の被害數に關する統計表新聞に掲載しあるを見たが或新聞には全く憲兵警察の比較を目的に發表したやうに書いてあるので憲兵制度廢止の聲ある今日何だか憲兵が警察を嫉んで斯かる統計を發表したので有る樣に讀まるゝ點もあるので甚だ心外に堪へぬ次第である實は統計表を發表する時其の趣旨を述べた通り內地の某大新聞に某內閣員の談として朝鮮の騷擾は總て憲兵に對する怨みを晴らす目的に依て行はれたるもので

其の證據 には鮮民は人民を襲ふとなく何れも憲兵官署を目標として襲うた事實で分る夫だから此際憲兵制度を廢して警察制度にしたら良からうと云ふやうなことが書いて在つた又此の新聞のみならず他の雜誌や新聞中にも略同樣の誤解が彼處此處に現はれて居るのを見た殊に某博士の如きは堂々と斯る誤謬の事實を基礎として立論して居るので我憲兵として上司が大局上の目的から憲兵制度を廢止せらるゝには何等異存はなきも內地人殊に有力なる人々が斯の如き

全然事實 を誤つて居ると謂ふことは甚だ殘念である騷徒の襲うたのは憲兵官署計りではない警察署も襲うひ又面役所や郵便局や民家をも襲ふた例も澤山ある憲兵官署の數は警察官署の數よりも多數なるに拘らず其被害の箇所は却つて少いのであると云ふことを證明せんが爲に統計表を發表した譯である今更警察と兄弟喧嘩をする樣な大人氣ないことをする樣に思はれては誠に心外に堪へぬ次第で殊にあの統計表を發表するに就ては憲兵、警察兩者の父たる兒島閣下の御許しも受けないで御示し、たのであるから左樣に誤解されては閣下に對して相濟まざる次第である

鮮人一般 が憲兵を怨み憲兵に對して獨立せんとして騷擾したのであると考へる內地の人々は少しく朝鮮に來りて憲兵と地方の人民とが如何に親密で又如何に憲兵を信賴して其の指に安んじて居るかを見れば良いと思ふ其れは騷擾前に見て貰へば最も良かつたのであるが騷擾後の今日でも尙彼等の誤解を解くには充分なる情況を憲兵所在地の何れの地方に於ても發見することが出來得ることと信じて疑はないのである

麻疹から急性中耳炎

……思ふ小兒が最近漸々見ゐるが專門醫は是れに就いて語る『それは急性……續くと鼓膜が破れて耳の內部から膿が流れ出るやうになる尤も膿が出て來る頃になると熱が下る……と思つても赤急性に發して來る

病狀が 輕快したものと思ふが中々さうでなく一旦快い……

女學校寄宿舍に赤痢

……し目下擬發中なるが學校にては山田校醫をして同寮生一同の健康診察を行はしめ寮……

熱狂相場を現出

朝鮮期米始つて以來の 八月限四十圓に達す 此高値が何時迄續く

農家の懷が好いのと先高を見込んだ彼等の思惑買惜みは正米の出廻りを減じ釜山群山仁川等に於ける開港場の在米は漸次減つてゐる所に內地の鮮米買附けは隨分烈しく全く値段構はずと云ふ調子であるから頃日來朝鮮各地の正米は日々に高値を滲へてゐる殊に十四日は東京大阪の期米暴騰の飛電あり仁川期米は酷烈な暑氣の加減も幾分加はつたらうが著しい上げ方で中限乃ち八月の受渡し米は四十圓と云ふ朝鮮期米初まつて以來の新高値を出だし先限――九月末受け渡し分も三十九圓九十錢と云ふ熱狂相場を現はした、相場の波瀾硬調は此日の買を著しく増加させ二十一萬石と云ふ大商勢であるこれは手數料引上が緣場からと云ふ關係で前場の勝負を急いだのも一理由だらうが何しろ素晴らしい景氣である、唯米作好順の聲高き今日此の熱狂相場がドコまで續くか相場は人氣の裏を走ると云ふから何とも云へぬが世界的食料不足と云ふ大きい材料を目前に控へてゐる以上少々の軟材料は利きさうもない米は尙ほ高いといふ事は玄人筋の意見のやうである

三十餘名の米屋が 總立で値上を叫ぶ

昨夜、有明樓の協議會 今日から愈四十六錢

當地白米小賣商組合では十三日午後九時から町有明樓に會合白米小賣値段引上げの件につき臨時會を開いたそれは小賣商として小賣値段が卸値段と同樣では其處に口錢なるものがなく此狀態が續いては迚も

遣切ない から此際小賣値段を引上げ度いと云ふのである處が組合長の方から『成程小賣商としては苦しい立場に進ひないが而し餘りの米高で世間では兎角の風評ある場合であるから餘程愼重に考へて貰はなければならない從つて今俄に引上を斷行するのは面白くない』と云ふ意見が出たので忽ち

議論沸騰 甲論乙駁し果ては三十餘名の組合員が總立ちとなつて引き上げを主張した結果それでは手持の米を一日丈け御禮の意味で得意に安價に供給すると思つて引き上げを見合せ十五日から一錢を引き上一升四十六錢とする事に議決して同十二時半頃散會した

金子一味控訴す 兩子爵は服罪か

保安法違反事件にて十一日京城地方法院に於て懲役の判決を受……るものにはあらざるかと云ふ

◎門外懇話會例會 十二日南大門町內集會所に於て門外懇話會……し歡談失部共間意見の交換あり和氣靄々の裡に散會せり

連絡船上陸客 十三日

……辻井倉三、山縣保子、……旗治郎、登良義一、梅本龍一郎、……次郎、田口愛治、高橋道吉、妨帶定助、新山末造、同みつ子、同さよ、阿部德太郎、……

福州虎疫猖獗 死亡者二百名に達す

福州にては六月以來虎列拉病流行し支那人の死亡者二百名の外邦人にも六名の患者を出し中一名死亡臺灣人亦六名の罹病者あり而も今後益々蔓延の兆あり居留民の打擊甚大なり（福州電報）

兇賊憲兵に斬付く 格鬪の末遂に逮捕

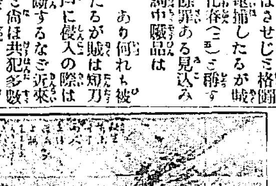
龍山分隊の手柄

十二日夜半より夜明けに亘り龍山岡崎町を中心に各所に窃盜被害の屆け出であり岡崎町派出所西田憲兵上等兵は捜査の結果賊は南山附近の山中に逃亡したる形跡あるを以て補助憲兵二名を從へ山中の森林に分け入りたるに賊を發見し

獰猛なる 鮮人一名賊品を積み重ねたる横に悠々眠れるを發見直ちに逮捕せんと接近すれば賊も去るもの靴音に驚き眼を覺すや否や懷中に藏せる白鞘の短刀拔く手も見せず西田上等兵に眼蒐けて斬り付け遮二無二逃走せんとするをさはさせじと格鬪の結果辛うじて逮捕したるが賊は黃海道生れ金化春（三五）と稱すれども前科及び餘罪ある見込みにて目下嚴重取調中賊品は

車に一臺 あり何れも被害者の手に戻りたるが賊は短刀二振を所持し各戶に侵入の際は必ず電話線を切斷するなど近來稀なる兇賊なりと尙ほ共犯多數ある見込なるも賊は頑として自白せず

北嶼嶺伯は過日入城目下市內南米倉町二〇五松本鶴太氏方に滯在中なるが近く金剛山寫生の途につくべしと因みに氏は山水花鳥を得意とし一般の需に應ずる由なれば希望者は松本氏宛に申込まれたし


北嶼嶺伯作品

鐵道土俵開 非常な賑ひ

龍山滿鐵社友會にては十三日午後四時より會館庭前にて相撲部の發會式を擧行し引續いて競技を實施したるが定刻前より觀取連及び見物の押しかくるもの引きも切らず土俵を十重二十重に圍みて聲援頗る盛んなり競技は玉の音事副島師範指導の下に全部を幼年組と大人組に分かち優勝者に對しては中野運動部長より一々賞品を授與し十一時過ぎ散會したり

蛇娘が來た 全身殆んど鱗

蒙古の蛇娘として過般來度々新聞紙上に紹介された蒙古洮南生れ洛英（一七）は十五日から明治町東拓前の空地で興行することになつた、同人は滿洲各地に於て見世物となり蛇娘として評判が高いが蛇の恰好をして居るのでなく唯全身に鱗が生ゐて居るのだそうである、風說に依れば同人の母が蛇に魅られて孕んだとも傳へられて居るが矢張り醫學上から見れば一種の皮膚病だそうである然し病名が判明せぬので今度福岡の大學病院に診察治療を乞ふ爲めに內地行きの途中京城にも立寄つたのであるが同人の兩親も附添つて居るとの事である

金剛山見物記（九）

犬がすくんだ上八潭の險

○今日は探勝日程の最終日、雨去來の雲去來の雨空を霽したいと云ふ鼻田師の願掛届いて、朝來の細雨、荷厄介になつた雨合羽が役に立ちしと悦び合ふなど、まるで小兒の樣なり。然も、温井里より廿丁、神溪寺に至つて雨歇み、目的の景を觀るの情愈は逃げ去つて、御苦勞にも雨後の濕氣に惱され、合羽を翻つて立つ吾等の姿のみぞ殘る。笑止千萬、なか〱におろかなる次第なりける。

○雨氣醸石を濕した爲めか、それとも吾等金剛山の險路を驅馳したためか溪流に滑り込むこと頻繁、吾盟の玉流洞に於けるそれなど、野球の盜壘其儘を演じて、果ては上衣のポケット內に在る、煙草、スケツチブツクに迄及ぼすなど、當日第一の傑作なり。

○遙く望めば、吹けば飛びさう、近く仰げば、此身溪谷へ吹き飛ばされさうな、謎の飛鳳瀑を過ぎ、左折して流を渡るや否や、目ざす九龍潭は頭上の彼岸に聳つて、貪慾な鳥、旅客の弁當をあて込んで其中空に舞つてゐる。殊勝にも此所まで隨いて來たホテルの飼犬、邪魔になる事頻りなるも、何事も旅は道連れ世は情だ、辨當を頒ち與へて、外山の崩壁上八潭を究むる。○

何がさて萬物相に劣らぬ險路、驅ける事には妙を得てゐる犬も、二間と爲い岩の連續には跳上る事が不可能。然し、折角行動を共にした事だ、大觀を見せてやるのも巧德さ、前脚を引き尻を押して登る、自分一人を持て餘した連中、さりとは物好き揃ひと云ふべし。○

頂上、左右に連なる秀峰を頸にて數へ、後へに、白綠を以て碧玉を連ぬる八潭を俯瞰し、疲勞の極か、荘嚴に醉ふてか、暫時二時間とは記錄を破りし事なるべし。（篩堆）

子供相撲 例年の通りパ

イン萬年筆製作所主人の肝入にて旭町二三丁目聯合の子供相撲は旭町三丁目妙覺寺上空地に土俵を築き場內の裝飾一切は櫻ビールにて引受け十二日より開始したるが每夜數十名の少年力士蒐集まり非常に賑ひ居れり尙明治町東拓前にも同樣の催しあり

傳染病發生 龍山元町

三丁目六十一番地川畑方新聞社員家族江島コト（一三）は先月二十二日より發病十二日腸窒扶斯と確診され直ちに總督府醫院に收容隔離さる

金剛山映畫 滿鐵京管

局にては十四日午後六時より龍山社友倶樂部にて先頃撮影せる金剛山絕勝のフイルムを映寫す

彌榮子の壺坂 十三日

夜浪花館で開演した女義太夫彌榮子一座は暑さに拘らず好人氣、時間が遲れて柳龍の『朝顔』から聽く、燕妓時代に比べるとカンが潰れて來ただけ確かに進歩の跡が見ゐる▲龍光の『日吉丸』は壯に男性的な所があるだけ斯んなものを語れば無難▲彌榮子の『壺坂』落着いた舞臺姿、語り出してからの動作に好い所がある、澤市の氣分には大分苦心してゐるらしい初めの內は脆さ拵らへた樣な所があつたが山になつてから赤心が現はれてよかつた、お里は總じて無難の方が地合の語り口には感心せぬ所もあるが後段に入つて全力を注ぎ、可成りの餘裕を示してゐたのは眞打の資格があると云つてよい、但し彈き語りは感服せぬ▲この一座三味線の專門家が居らぬのは一寸淋しい

運動界

龍山の庭球戰 十三日午後三時より龍山鐵道公園テニスコートに於て三井物產（松本大前組を除く）と鐵道第二選手との試合を爲し物產軍能く戰ひたるも利あらず鐵道軍の大捷に歸せり

灯ともし頃

あれ丈の萬歳騷ぎを弄もなく片付けて一層男を擧げた例の鬼檢事、京城地方法院の河村檢事曰く▲吾輩が獨逸に留學して居た時の事柳澤伯の令弟と共に或遊園で黑人の舞踏を見て居た、すると黑人が頻りに吾輩を手招きした上、果てはノコ〱と演壇から降りて吾輩の傍へやつて來た▲流石の吾輩も薄氣味惡くなつてスタコラ逃げ出た處、後から彼黑人が追つ駈て來て『オイ黑人さん何故逃げるのだ』と云つた▲察する處吾輩を黑人と間違へて居たものらしい、吾輩はそんなに色が黑いかなーと顏をつるり

大正八年 自十日至十五日 曇一時晴 ▼京城氣溫▲（華氏）……八十六……

西暦七月十五日 日出 日沒 月出 仁川滿潮 午前 午後 干潮 午前 午後 ……

月やくある人

月やくとまり不順のため食物胸につかへ時々むかつきのぼせ頭痛めまひがする下腹痛みこしけが下るとかにて何となく身體の工合惡くこれまで色々他の藥でも効なくお心配の方は誠にお同情に堪ねませんこんなお不幸の方を一人にても多くお救ひしたい一念から永年苦心の結果妙藥經球を發見しました經球は身體に何の害なく流經する妙に良く效く月經の專門藥でありますから經球を信じてお用ひになつた方は皆樣効能現はれてわざわざお禮のお手紙やらお出になつてお禮を述べられる方が澤山で私の机上は禮状積んで山をなして居る有樣ですから一日も早く安心をしたい幸福の身となりたいとお望みの方は私方へお出でなさいお出での出來ぬ方は申込あれ本人に限り誰にも直判る樣に書いた說明書を入れ助けのため直送ります

月經專門藥 發行所 東京市四谷區信濃町電車停留場前 大阪市北區曾根崎上一丁目四番地 森田屋

便利店 京城南大門通三丁目 新井藥房
便利店 京城大平町 木村藥房
便利店 京城[illegible]通一丁目 [illegible]生堂藥房

神經衰弱 生殖器病患者に急告

恐るべき手淫の害と諸種の病氣の爲に人生最大の幸福を失ひ◎神經過敏症◎頭重◎頭痛◎眩暈◎記憶力減退◎思考力減退◎頭內朦然◎陰萎◎夢精◎早漏◎不育不完全等に苦しむ方は至急本院に申込まるれば生殖器病專門陽春堂院長が多年苦心研究の結果發見せられたる專門藥ノイラの說明書無代進呈す 藥價十四日三圓五十錢 廿日七圓 六十日十三圓 九十日十九圓

東京神田三崎町一丁目一番地 陽春堂藥院 電話本局一六四六番 二三九番

鮮滿を風靡する パイン萬年筆の權威

▼萬年筆の名はパインに依りて愈高し▲

發賣元 京城大平通り 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

細出 八圓八十錢
縱出 六圓八十錢
短軸 四圓九十錢
實務用 三圓八十錢
學生號 二圓八十錢
事務用 一圓九十五錢
新型品吸入式 五圓八十錢

廣告

當所賣買手數料建米百石に付き金参圓、日仕舞金壹圓五拾錢に改定し本月十四日後場立會より實施す

大正八年七月 株式會社 仁川米豆取引所

宮內省御用達 兵庫縣灘魚崎 山邑太左衛門釀造

サクラ正宗

櫻正宗櫻魂發賣元 山邑京城支店 京城明治町二丁目 電話長八四九番 一四五四番

第五版

満洲移住の鮮農（四）

西北鮮のみならず南鮮よりも

満鐵技師 攝待農學士談

鮮農の満洲移住が極めて自然的趨勢にして人爲を以て努むべからざる事は前述の如くにして一時支那官憲が移住防遏の方針に出でたるも其の効果なく壓迫の手の弛むと同時に從來よりも一層の勢ひを以て移住し單に西北鮮の農民のみならず南鮮地方よりの移住するもの亦漸く増加し其の移住地方の如きも從來は豆滿江流域の兩江流域に限られたるものが近來に至りては更に奉天より渾河流域に進むもの或は遼河流域の平原に耕する者あり又は開原より拘鹿、圖場地方に入り或は吉林地方に入り松花江流域に耕する者或は更に哈爾賓方面より松花江に從ひて下る者又は東間島より牡丹江流域に出る者あり從來は單に北西鮮地方農民が豆滿兩江を渡りて耕作するのみなりしが近來は南鮮地方より

近きは安東奉天

遠きは長春哈爾賓満洲里方面迄相當の汽車賃を拂ひて移住し其方法も從來は先づ壯者移住し生活の基礎を確立したる後家族を移すを例とせるが近來の移住鮮農は始めより妻女老幼等始めより一家を擧げて移住するを普通とす之れ彼等が満洲移住に就きては幾多先例に倣ひて

生活安定の確信

を有する事を證せり之等の事實は單に交通の利便と經濟關係に由る移住とのみ見るべきか吾人は茲に彼等移住の動機を揣摩臆測する事を爲さざる可しただ之等滿洲移住の朝鮮人の状態を見るに彼等は果たして移住當初の

目的通りに利益

を獲つつあるか彼等は朝鮮内部に於て働くよりも勞少くして多くの利益を得つつありと雖も其の多くは支那人の腹中を肥すのみにて彼等の多くはただ比較的樂に衣食し得ると云ふ位に過ぎず若し彼等の收入の大部分を彼等の所得と爲し得る方法の講じらるるあらば彼等は茲に初めて

滿洲移住の目的

を達し厚く其の生を養ふ事を得べし此の保護は何者が與ふべき義務ありや問ふまでもなく我が政府と朝鮮當局者となり、而して滿洲移住鮮人の保護案につき幾多の實行方法あるも今機に

公表し難き事情

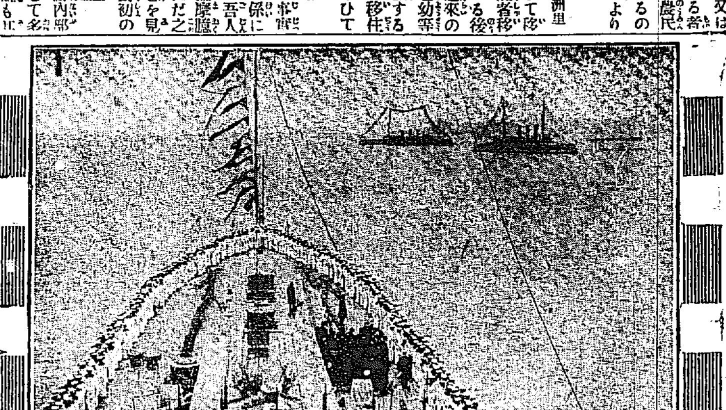
あり、ただ最近奉天に於ける瑞鮮號の衰頽の如き甚だ惜むべきなりと謂はば此の間の消息は會得せらるべし之れを要するに鮮人の滿洲移住は生活自然の要求に出で之れを人爲的に防止し或は促進せしむる事の不可なる事及び朝鮮人は將來に於ても

自然及人爲障害

如何に拘らず益々滿洲に移住すべき状況にある事鮮人の滿洲移住は朝鮮及び滿洲延ひては我が日本内地及び支那の食糧問題等に關しても益ある事害なき事ただ茲に注意すべきは滿洲に移住すると雖も歸化せざる限り

我が國民として

彼等を通じ彼等を保護し彼等の利益を圖る事を一刻も忘る可からず若し此の問題を閑却せんか百の利益は合して百千の害惡と變ずべし父子と雖も天涯相別れて生活する事多年なれば其の情自然に冷薄なるが如し此等の點は深く我が當局者の留意すべき點なるべし（完）



凱旋艦御親閲（東京）十一日夕刊第二面記事參照

内地に於ける朝鮮米（四）

仁川商業會議所調査

米穀檢査に就て

米穀檢査の普及

朝鮮總督府に於ては大正四年總督府令を以て米穀檢査規則を公布して之れが檢査上の準則を示し既に主要なる産地の各道に於ては其の檢査を實施し著々として輸移出米改善の實を擧げつつありと雖も今日尚北鮮地方の二三の道に於ては其の檢査實施を見るに至らず以て未檢査の儘多少の移出せらるるものありて之が取扱上不便なるのみならず延いて鮮米全般の聲價に影響する所あるもの多大なるものあり米穀檢査は今日に於ける急務なりと及び既に實施せる地方の成績は倚良好なりと雖も地方に依りては乾燥不充分なる嫌ひあるもの或は包裝の不整備なるもの等存し未だ朝鮮全般として統一せられたりと云ふを得ず故に各地に於て之れが檢査上手加減を爲すが如きことなく統一的に嚴密に之を勵行するを要す

檢査法規の統一

米穀檢査規則は總督府令を以て發布せられ居るも實際米穀檢査を爲すは全く道長官の權限に屬し道長官は此規則に依り各自檢査規程を制定することとなり居れるを以て總督府は此の規程の認可に際し如何に嚴密なる干渉を爲しつつありとは云へ各道尚若干施行規則の相違點なき能はず、然るに今や朝鮮全道を通じて米穀檢査を實施するの機運に際會せるを以て在來の道長官制定しつつある規程を廢止し之等を加味せる鮮密なる檢査規則を總督府令を以て制定し以て法規の統一を圖り檢査の普及に伴はしむべき

檢査規則の改正

現行米穀檢査規則に依るに米穀の等級を特等、一等、二等、三等及び不合格の五階級に別ちて、此の合格米中の三等は範圍稍廣きを以て合格米を更に一級増加し特等一等二等三等四等及び不合格とし爲すを至當とす、次に檢査米に對しては等級、道名を表示せらるることゝなり居るも更に其の産年（時指又は今指の別）及び生産地名を記載することゝ爲せば參考に資する所多大なるものありと思料す、

商業道徳の尊重

商業道徳に關しては漸次向上の傾向を呈し殊に大商人に於ては其の顯著なるものありと雖も今日尚ほ在鮮小商人中には或は全然品物の引渡しを爲さず或は一部分を引渡して責任を免れんとし或は契約品より劣等品を引渡し或は契約期日を遅延するが如き事實稀なりとせず又荷爲替取組の場合に於て萬一相場が荷爲替額面以下に下落することあらんか容易に爲替尻の決濟を爲さざるが如き例之れ無きにあらず、之等は内地商人と永く信用ある取引を繼續する所以にあらざれば在鮮當業者は深く之を反省せざるべからず（完）

暗雲漲る

哈爾賓軍の三姓移動…軍議

高師長の傲語

在吉林第一師長高士儐は護路司令部に報じて曰く奉天督軍張作霖は吉林督軍孟恩遠を罷免し黑龍江督軍鮑貴卿を其後任とし領せんとを中央政府に迫り此の不當の處置に對し我吉林の軍隊は武力を以て抗爭せんと即ち吉林第一師第一旅團長誠明をして旅團長全部を率ゐ長春に出動せしめ以て奉天に備ふべく哈爾賓より三姓に移動すべき兵も全部同時に向はしむべしと斯くて第一旅長誠明は目下長春出動を急ぎして車輛の準備中なるが一方護路司令部にては副司令李顯章電報に接し緊急會議を開き（一）ハルビン駐在の軍隊を全部長春へ進出せしむること（二）ハルビン駐劄軍の目的は黑龍江軍に對する防禦策如何は鐵道保護と露國過激派の防禦とに在り今若し全部隊を擧げて南進せしめんか之れ外國軍隊の進入に機會を與ふるものなりの二項を議し此の理由により長春進出に反對の旨を返電せり之につき高師長は未だ決然たる意を示さざるも第一旅長誠明は軍備を整へ居れりと（哈爾賓）

戰機…當に熟す

孟督の立場…省城警戒…引繼

宣言書發表

吉林軍の幹部は愈々去る九日を以て宣言書を發表したる九日を以て宣言書を發表し名分を明かにせんとする張奉督が中央を脅かし之に對する策應、悲しい哉吉林軍は既に中央との通信杜絶の状態なり當地より發する電報を悉く奉天にて沒收に逢ひ中央に達せざるなり孟督の立場に同情すべきものも又一々奉天に逢ひ中央に

兵力の集中

長春を中心として吉林軍の省境に集中せる約二個師團猶續いて南下しつゝあり又省城へは地方の駐屯部隊より移駐を行ひ居れり

省城の警戒

戒嚴令を布きたる市街は要所を守備する歩哨物々しく督軍署附近は全く交通遮斷され夜は城門を閉ぢて一切の通行を許さず

引繼ぎ問題

臨時督軍署課の發務を命ぜられたる郭省長は直ちに辭表を中央に提出し一方孟督の引渡しも中込に應ぜずとしと云ふ時局の進展に伴なひ其成行き如何によりては責任のなすり合にて内輪に何等かの問題起る可しと想はる（吉林）

朝鮮の謎

天象門…晝夜…

（問）幾ら吸つても腹の膨れないものは何か（答）空氣

（問）寒ければ短く暑ければ長いものは何か（答）晝

（問）燈火を點けると消滅るものは（答）夜

（問）利刀で切つても切れぬものは何（答）水

（問）旅費を持たずに晝夜行き而かも千萬里行つても後ろを顧みないものは（答）水と水流

（問）形のない動物は（答）風

（問）足なくして天下を行き手なくして木を搖動かすものは何か（答）風

兵器製造所長（平壤）

平壤朝鮮兵器製造所長は陸路中佐歐米視察出張中缺員との風評ありしも今回東京砲兵工廠々員秋山豐平中佐その後任として赴任することに決定したるが來任期日は尚未定なりと、因に陸路中佐は歸朝後秋山中佐の後任として廠員に轉ずべしと

塵中零話

朝鮮銀行の大連支店は今年中に落成する事になつて居るが▲落成後は大連大廣場に於ける建物の白眉として大廣場に光彩を添へる豫定である▲表面を飾る六本の石柱は徑五尺高さ數丈の白花崗石で美事のものだ此の石柱は一本が一萬數百圓の經費が掛つたさうだ石材は安東縣下馬塘附近から切り出した花崗石だが大きな花崗岩の山ではあるがこう云ふ立派なものはないと云ふ事だ▲表の朝鮮銀行の字は頗る美事な筆跡であるが其の筆者は誰であるかと云ふ事が問題になつて居るが▲立派な筆跡であるが筈だ太田理事が當今の名筆を彼是と選んで見たがどうも思はしくなく思案の末王羲之の書の中から之れだけの字を選び出してそれを寫眞に取つて彫刻したものださうだ▲字を探すから寫眞に何回も取換る苦心は一通りではなかつたさうだがそれ丈け非常に見事のものである（大連人）

商況

株式

東京現株（至急電報）

▲印騰貴 △印下落

銘柄	値株拂込	十四日中値
鮮銀	一〇〇、〇〇	▲二〇五、〇〇〇
同新	二五、〇〇	▲一五五、〇〇〇
京電	五〇、〇〇	▲六二、〇〇〇
東拓	五〇、〇〇	▲九一、五〇〇
同新	三、五〇	▲五三、〇〇〇
殖銀	五〇、〇〇	△五九、〇〇〇

東京株式（至急電報）

銘柄	十四日前場大引	前日比較
東株	三一〇、一〇〇	九〇高
同新	三〇八、〇〇〇	四、五〇高
滿鐵	一七四、四〇〇	六〇安
一新	一五一、五〇〇	同事
二新	一一四、〇〇〇	一、〇〇高

大阪株式（至急電報）

銘柄	十四日前場寄付	十二日後引比較
大株	三一七、四〇〇	三、五〇〇高
同新	三二一、〇〇〇	三、一〇〇高
日郵	二七九、九〇〇	二、八〇〇高
同新	二三六、〇〇〇	一、一〇〇高
商船	一八二、九〇〇	二、三〇〇高
同新	一三三、九〇〇	一、〇〇〇高
鐘紡	……	……
同新	……	……
東紡	二六一、九〇〇	七、〇〇〇高
東糖	一九一、九〇〇	……
常米	……	……
上取	五一、一〇	……

京城現株（標準値段）

▲印騰貴 △印下落

銘柄	拂込	時價
仁取	五〇、〇〇	一五六、〇〇
朝銀	二五、〇〇	六〇、〇〇
朝郵	二五、〇〇	四〇、〇〇
電興	二五、〇〇	一八、〇〇
皮革	二〇、〇〇	二七、〇〇
東畜	一二、五〇	一五、〇〇
朝紡	一二、五〇	一〇、五〇
朝紙	一二、五〇	二〇、〇〇
商銀	一〇、〇〇	六二、〇〇
滿毛	一二、五〇	三三、五〇
鮮煙	二〇、〇〇	二四、〇〇
仁倉	（保利）	一〇、五〇

仁取變らず

二百圓臺遂遠

仁川取引所株は相變らず一般押目待ちに買手控への姿にて商内閑散なるが百五十六七圓のマバラの買物は依然として絶わざるものゝ如きも思惑者は今や腹の氣味にて進んで買漁る模樣も見へず聯か氣勢れの觀あり後でも強氣の材料に數へたる手數料引上げも愈々本日後場より其の實行を見る筈なるが前場の如き二十一萬餘石の取組高を示したる好況なれば値上後と雖も著しく減少は來さざるべしと見るもの多數なるが如きも前の仁取株かと何等の好刺戟を與へず熟れかと云へば弱保合の姿なるは從來餘りに熱狂したる反動として弱氣は免れざる現象ながら一部弱氣の説は此邊の値頃にして今後の騰落は極めて小市に過ぎざるべしと云ふものもあり孰れにしても今日以後の出來高が採算の基礎となるものなれば茲四五日の成行きこそ同株の人氣を支配するものと見て興味を以て迎へられつゝありしが▲仁川氣配 連日持合を持續して強弱者の氣を迷はしめたる仁川取引所株も百五拾四圓五十八錢を安値として弗々買物現れ思惑も往されしが本日の後場より二に集注されんとする各仲買店の手數料引上げに付て或一面には現今の商内よりも意外の激減を豫期して商みし傾向も有りしが某消息通は其機を透さず百五十五圓見當を買狙ひし噂もあり旁々在朝の其他にて弗々買手現れ百五十五圓五十錢より六圓見當を買進み居るが如し

朝鮮製紙好望

最近内地に於ける人氣株の暴落に伴ひ一般に實質本位の擇擇買…

米況

東京期米特電

十四日前場 當限 三十八圓三十錢 中限 三十七圓八十三錢

寄附 …… 高値 …… 安値 …… 止め 三七、三六

大阪期米特電

十四日前場 當限寄付 三十八圓九十八錢 中限寄付 三十七圓十一錢

寄付 三六、〇四 高値 …… 安値 …… 止め ……

神戸期米特電

十四日前場 寄付 三五、九四 三六、六九 高値 三六、〇四 安値 三六、四二 止め ……

下關期米特電

十四日前場 正米高 當限 中限 先限

	當限	中限	先限
寄付	三八、三	三七、〇〇	三六、四
高値	三八、四	三七、四	三六、三六
安値	三八、三	三七、〇〇	三六、四
止め	三八、四	三七、三七	三六、六

仁川期米

十四日前場（更に暴騰）

今朝天候晴天各地入電未著なるも日曜阪地暴騰の氣配高と正米の減切高を移して買氣旺盛に立會は當限出來不申中三十九圓八十錢先三十九圓二十錢と

寄付

き各店より金切處分に煎れ退きに六十五錢反撥せしが高値は目先利喰ひも有りて四五錢にて大混戰を演じ返し引

▲第二節 當限出來不申中九十錢

廣澤正次郎（仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話長一〇五番）

流行となり砂糖が高ければ砂糖株界も亦會社の實質研究に重きを置かるゝ如く殊に朝鮮製紙の如きは原料パルプの製造に要する材料を最も容易に得らるゝ滿洲に大規模の工場設置さるゝが人氣に投じたるものゝ如く久しく二十八圓見當に居据り居たる同株も最近漸く買望み現れ二圓方の上値三十圓より三十五十錢處を唱へ居れり

◆北濱だより 物價調節の一策として公債萬圓の募集を確定したので之に依つて幾分遊資は吸收去らるゝであらうけれど資金潤澤にして而かも其の拂込期は稍後にあれば之れが爲めに著しく金融を緊縮せしむる無いであらう果して物價調節に其效のあるべきかさへも疑問である然るに政府が物價調節に意ありと傳へらるゝや其の效果は如何なるものかを見定めずして市人は周章狼狽して賣玉を投退き又た軟派は得たりと安値を買込んだ丈けに反つて反撥の期を逸したので今朝は早く出直り歩調となつたのであるが買玉に未練を殘して投退き安値を逃した軟派が突込んだ丈けに氣直りも向も投退きを逸したるが突込んだ丈けに反撥も激烈であらうが倚ほ高値の買玉を持て居る向もマダ存在するし又た賣方も未だ力を入れ來らぬ丈けに其儘に一氣呵成の同復をしてし得るかは疑問であるが兎に角倚ほ安値買は警戒する時期であらうか（十一日）

氣高小波瀾

引當限は各地正米高に買氣旺盛の理に先三十九圓五十錢より三十四丁の上放れに寄付六十五錢と上十四錢先阪地寄高三十六圓の買物と共に三十圓先にて立會▲第三節 當出來不申中四十圓三十九圓九十錢と鞍と押七十錢と混戰に引▲第四節 中限八十九錢より八十錢と押しも押目は買物旺盛にて引▲第五節 中限八十三錢と押して引

▲第三節 當出來不申中四十圓より六十八錢に押込むも更に三十九圓九十錢と牽む目買物依然として七十錢に押して利喰ひに引

仁川後場爆發

六十五錢にし五十錢高値

外米大思惑か

前場に出來高は大分減じたるも後場の寄付は…

先限 三十二萬七百石 中限 一萬七千八百石

出來高 二十萬二千石

市場雜觀

米價は如何に當局者が喧しく云ふても又如何なる對應策を行ふても益々硬勢裡に推移するのみにて見るの外なく所謂食延べを事とせねば已まぬものと思はるゝ事象として特に留意すべきは米商の少なきと結果として一般商人の思惑がある事である此れは値頃關係に集散市場であるとは云へ當局者の手許に何時も米が豊富である…

京城正米市場

過般來逐日昂騰歩調を辿りし場正米は昨日曜中の三十錢高に續いて今朝は定期高と内地の正米高に更に五六十錢方の暴騰を演じ地場神力の上米は三十八圓…

仁川正米市場

米界の前途愈々氣還しく頃日來より暴騰を連續せし仁川正米市場も今朝愈々四十圓の大關門を突破して六七十錢を買進まん傾向に正米は大爆發を見るに到つた…

白米五十錢高

白米は今朝大阪神著四十八圓迄調談行はれ地場白米四十五圓七十錢に當れるが原料暴騰…

十錢見當にて三等神力四十圓七十錢

釜山正米市場

内地期米引續き硬調にて在庫品手薄の折柄精米筋及び輸出筋の買進みに遂に四五十錢高の三等神力四十一圓二十錢にて八千叺の商内ありて上物には四十二圓五十錢を唱へられたり ▲大豆二十錢高京義物十七圓京釜物十六圓二十錢にて五百叺の商内ありたり（十四日釜山電話）

雜報

砂糖界一騷ぎ

大豆昂騰す

横濱生糸電報

綿布依然閑散

三品

大阪三品特電

十四日前場 綿布三銘 十五圓六十錢 六一〇、〇〇

園仲買店

仁川米豆取引所仲買人 電話一八二・長一八三番 電略（シ）又ハ（カクシ）

演藝案内

有樂館 喜樂館 水戸黄門漫遊記 陷穽

壽館 本町一丁目 電一〇五〇 七月十四日午後六時より開演

大正館 七眞珠 千鳥の唄

浪花館 納涼興行諸藝大會

壽座 千鳥の唄

お盆の御休みには大正館に限ります 七眞珠 夏尚寒き大活劇！！！ 怒濤中の大格鬪！！！ 千鳥の唄 明十五日夜開演

爲替手形遺失廣告 德泰東告白

京都産 金銀諸箔鈖 堀至善堂 大阪支店

六千圓 四千圓

神戸鹽崎商會 振替大阪八十番

柳下駄各種 并に薄板製造 福永商會

東京三金の靴 三金高等靴店

日本名刀傳　百一

東京　田邊南龍講演

五郎正宗　(廿九)

衆光は門前に立ち出後を振り返り左も憎々しき顏色して衆『ヤイ其處に並んだ鍛冶屋共、默つて聞いて居りやア色々な好き勝手の言を吐しやがつて、能くも此の俺に赤つ恥を掻かせやアがつたな。俺が勘當されたのを手を叩いて笑つて居やアがる。能く覺えて居やアがれ、呆れけれつた奴等だ、正宗如き者が日本一の宗匠となつたのは、何か仔細のあることだらう、是れから鎌倉へ乘込んで能く〳〵實地を聞き糺し、俺の腕を正宗に見せてやる、さうして彼奴を降參させ弟子にして歸つて來る、其時は皆に改めて頭を下さしてやるから懲ねて居ろ　甲『此の野郎好い加減にしろ、ヘン、正宗先生が日本の宗匠に極つたのは何か仔細がある、降參さして來て弟子にする、聞いて呆れる、好い加減なことをほざきやアがるな、手前こそ弟子になつて來い、ハヽヽ』衆光もまけずに振返り〳〵惡口吐き作ら是れより足に任せて宿を重ね日に歩みて、やがて相州鎌倉の町の入口迄來ました、松並木の外れに茶店があるからそれへ腰を下し衆『婆アさん、茶で無く水を一杯呉んな、大きいもので呉んな、咽喉が乾いて仕方が無いから……』婆『畏まりました、今日は好いお天氣樣で……』衆『婆アさん、少し聞くが、五郎正宗と云ふ刀鍛冶は家は何處かい』婆『ハイ、是れから直に參りますと右側の立派な御門構のお家で、それは々御豪儀なものでございます』衆『直に分るかい』婆『もう直に分ります』

衆『何ださうだな、大分評判が宜いさうだな、少しは腕が出來るのかな』老婆は衆光の顏を熟々見て衆の先でフーンと笑ひ婆『旦那樣出來る所ぢやございません、お父さんの行光と云ふ方も豪い方なのですが、息子さんの正宗樣はもう一倍優れた方ださうでございます』衆『ウンさうかい』婆『此度は禁庭樣の御番鍛冶とか云ふことにならつしやつてお位をお取りになりました、親子二代續いて日本の宗匠とかにお成りなさいましたので、それは〳〵大した評判でございます、何しろ十歳位から刀鍛冶におなりなすつたので、それに就ても一ト方ならぬ御苦勞なすつたのでございます、お母さんが異つて居らつしやるので好い時分から打たれたり捻られたり、それは〳〵御苦勞なすつたのでございます、そんなに虐められても、お母さんの御病氣の時は神樣へ信心なすつて、雪の降る晩井戸で水を浴びて御全快を御祈りなすつた程の孝行者、實に立派な御人物でございますよ、既に殺害に迄ならうとしたのを助かつてお母さんのお父樣が、娘の所業を御立腹になつて切つてしまはうとなすつたのを、正宗樣が刃の下へ這入つてお母さんの身代りにならうとなすつたので、今に背中に刀疵の跡がありますので、背割正宗と世に謂はれてお出になります、さうして、アー云ふ立派な方が出來たものか不思議な位でございますよ、それで人樣には至つて叮嚀で高ぶらず婆のやうなものに迄時々先方から言葉をかけて下さいます、世の中には自分許り豪がつて親には口返答をしたり、仲間には無暗に威張つたりして、仕事と來ては怠け放題怠けて居るやうな奴は出世する譯がございませんね』と口を極めて正宗を賞めまする言葉の端々に衆光の胸には犇々と應へるので、苦い顏をして聞いて居る

▲前回衆光の父景光は尊重の誤り尚第九十六回下段十六行目沓脱ぎ石へ殿付けたは叩きつけたの誤り

七月十六日

(舊六月十九日)　水曜日　▲四綠　所謂たつみ(東南)　▲赤口　▲ひらく

▼四綠▲細心に注意すべき日也
▼五黄▲目出度き日にして何事にも吉但し酒色の交はりを戒む
▼六白▲嬉しきことのある日萬事に用ゐて吉共同事業は殊に吉
▼七赤▲福德にめぐりあふ幸運なる日なれど慢心すれば不可也
▼八白▲兎角はき〳〵せざる日
▼九紫▲機みさへ付かば好く纏まる日なれど急ぐ事は不可なり
▼一白▲物ごとの捗どらぬ日也
▼二黑▲注意に注意を加ふる日
▼三碧▲福德の舞込む日にして驕慢ならざれば諸事成功すべし

一人の實驗で幾千の人助け
ロクマク・肺病
一錢五厘でタダアゲル全治實驗

水たまる〳〵ろくまく、たまらぬろくまく及び肺病にて百藥効なく迷ひつたり困つたりして居る人が世間に隨分多いが爰に注目すべき一つの事實は安原氏の全治實驗（此のつなへさりつかく人は皆助かる）氏は是れでは中々肺病か轉地もしたり又病氣さへ快して元の身になれる事ないと思つて高いもいろ〳〵服藥だが効なく此儘ならないと自ら勇氣を鼓舞して一療法を最後の運だめしの手段と信じて實驗したところそれが一大奇効に命中し目に見ねてずん〳〵快方になり意外の短日に全治したるが既往を回顧するとき病中の苦しみも全治の嬉しさも吾身につまされて同病者に思ひやり同情が餘り希望の方へは七不思議獨り診斷法及び全治實驗療法を全部無代で差上げる由なるが今日迄既に氏の全治實驗療法に依るろくまく又は肺病の助かりし人數知れずわざ〳〵禮狀をよこした人だけでも數千人に上つて居る實況であるから遠方の人はハガキで東京市日本橋區蠣殼町二番地安原氏へ直ちに照會すれば僅に一錢五厘で此の一大福音を座ながら手に得ることが出來る

貴君は申分の無い方ですが然し腋の下が臭い
わきが

は交際立身出世の障害で一生の不幸です本郷順天堂で苦心研究の上發表された療法で一刻も早くお治しなさいハガキにワキガと記し東京本郷區眞砂町本郷順天堂へ申込まれよ

藥草　製藥專業教授

マダ全く他にない特種獨占事業發見　素人男女誰にも出來る藥草栽培より利益多大保證
唯一ケ月間自宅で藥草の製法が覺ゆる無資本同樣でスグ其日から金が儲かるハガキで申込規則見本進呈
無代進呈　此國產藥草栽培收穫製藥治療法大鑑　附藥草應用民間療法　郵送料無代　日本通信藥學校別科

職業

專賣特許内外賞用品仲買優美遠近男女自宅出來年中無休機具一式熟練三圓送　切貸與し工賃日拂　製品見本確實　無料進呈
特約店募集　大阪天王寺大道一丁目三九一八　豐國商會

▲有効確實ニシテ賞讃ヲ博セル
マラリア特効丸
定價表金拾錢貳拾錢參拾錢五拾錢壹圓　郵稅金貳錢
販賣店各地有名藥店
本舖　林藥房　龍山元町二丁目
代理店　山岸天佑堂　京城本町一丁目
代理店　大黑南海堂　釜山辨天町
代理店　森田草藥堂　平壤大和町

大口歡迎　質　田村質店　黃金町長橋町入口　電話二九一六番　商品擔保取扱便利

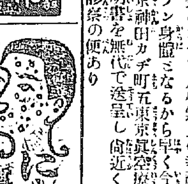
小夜衣草帋
最新刊　◁合本目錄▷
▲小夜衣草帋　式亭三馬作
▲百手枕　田水金魚作
▲戀の出雲　爲永春水作
▲戀の花染　自笑山人作
▲男女川草帋　笑亭樓山人作

密書入　全篇彩るところ濃艶な當時の繪を最も大膽に最も露骨に描出した江戶人情本の白眉原本は何れも絕版物で容易に手に入れ難き珍書云はぬが花の内容は讀で始めてニッコリ首肯給ふべし
五卷合本四六版裝釘大和綴總クロス　無比振替か爲替なら密封送料共金一圓六十錢切手代用は一圓七十五錢代金引替小包一圓八十錢
發賣紀念の爲先着申込百名を限歌麿筆木版摺極彩色美人帖贈呈　振替東京四四一九
トモヱ文庫　東京市神田區表猿樂町廿一番地

男でも女でも
是から起る生殖器障害

男でも女でも是から夏にかけし身體がダルク成り別しても精神がダレて怠惰して幾ら眠つてもまだ眠い心持がし頭がボンヤリして何か被つた樣な感じがして記憶力判斷力減退して何でも無い事が苦になり活氣の無くなる人は腦神經衰弱にかゝつて居る男女は又生殖器の神經にも障害を及ぼし遺精、夢精、早漏なども起し中には不自然的惡習慣の爲め先に生殖機能が衰弱しあるから腦が惡くなる人もあるが腦神經衰弱には佛國發見の職業的療法、生殖器障害には最新學理の專賣特許眞空療法が現代最善の療法で而も自宅で簡單秘密に治癒す打やつて置くとだん〳〵重くなり頭が馬鹿になり氣が變になつて人生無上の幸福平和を失つたりして男女共生ツマラン身體となるから早く今の中に復活されよ遠方はハガキで東京神田カヂ町五東京眞空療法研究所へ申込あれば非賣品圖入說明書を無代で送呈し尚近くの方は御出になれば附屬醫院で無料診察の便あり

新劑　アクナ



にきび　寒門藥　最新學術的にきび取製劑なり　定價大壹圓　小五拾錢
東京日本橋區本銀町四ノ一七　東洋貿易商　小笠原大洋堂

腦はな
ぜんそくがナチル藥

腦病鼻病ぜんそくで種々の藥を用ゐて效なく困難せらるゝ方は返信切手三錢添へ早速御照會あれ患者が知らねば治らぬ食物の事からわけなく治る藥を何人にも無料で親切に教へてあげます
東京芝南佐久間町一　上山三二　電話新橋三一六〇　上山頑藥所

運勢判定術　通信教授
安全の好職業　◇直に月收多額

開業も出來る　▲學力も要らぬ　人は一寸先の事が知れぬ若し之が判つたら如何に幸福であらうか本社の運勢判定術は宛ら千里眼透視術の如く人一代の吉兇を手に取る樣に看破する事が出來る本社は此際希望者を募集し極めて易き講義錄で速成的に教授する卒業者は直に判定術者と成つて開業し多額の月收を確實に得られる妙業がある副業にしても相當の收益は安全に得られる　開業させぬ迄も此非凡の術を覺えて置けば酒落自在人後に落ちる事はない◎ハガキで東京巣鴨町心交社へ申込めば能く判る見本を無代で送呈す

益々有望なる本業副業

此際秘傳參考書無代進呈　男女六十歲迄至急志募集　僅の勞力と勉强により自宅營業の上收入多く高等學の發展の途ありて收入多く老年に至るも心配なく帝國内外共自由にして他業の如く出身も及ばざるあり且開業は今後益々有望　サージ灸術鍼術學力小學程度至急　ハガキで申込規則本一冊進呈す○東京青山北町七丁目　日本鍼灸學院

永年苦む慢性の胃腸病を治す

今回醫學本名先生發見の高田胃腸藥は永年烈き慢性の急性胃腸カタル不消化胃痛胃酸過多胃擴張等に卓效あり東京青山高田胃腸藥製所へ送金あれば速に郵便にて送附す

オキシパサー

治病範圍　腹膜炎、肺病、胃腸病、下痢、便秘、脚氣、肋膜炎、腦病、ヒステリー、中風、心臟病、肝臟病、腎臟病、喘息、神經痛、痔疾、眼病、耳病、鼻病、婦人病等
▼製造品御申込次第進呈

定價金三拾八圓　東京麴町有樂町一ノ三　大日本オキシパサー商會　電話本局二六二九七　振替東京二三八一二

光榮ある御化粧料三十六種の内
桃谷研究試驗所創製
美顏洗粉

女學校へお出での方はどなたも御存じ……

▲牛乳や鷄卵は何故美しくなるのによいのでせうか?それは牛乳や鷄卵には純良な蛋白質と中性脂肪とを含んでゐるからです。此事は女學校へお出での令孃方は、どなたも御存知の事で厶います。美顏洗粉は種々の原料を一々嚴密に檢べて品質の良い原料を用ひてある上、殊にこの純良な蛋白質と中性脂肪とを丁度適度に含むやうに數種の特殊原料を加減して用ひてありますから牛乳や鷄卵を使ふのと變らない效果がある事に成りますのです。この點はこの洗粉の特長であります。

御内意により謹製したる洗粉

大正四年五月上旬、或る台貴の御係から、佛國西製の或る洗粉とクリームとの見本を添へられ、これに劣らぬ優秀なる品質の二品を桃谷研究試驗所に於て調製奉進せよとの有難き御内意が傳へられました。當試驗所にては此上なき光榮に感激し、技師一同飽くまでも深重に綿密に研究を積み同七月下旬を以て調製品を上納致しました處、二品とも品質の極めて優秀なる事を認めさせられ、爾來常に御命を拜して居りました其二品の中の洗粉を、先頃來廣く世に發賣する事にしましたのが此の美顏洗粉であります。斯ういふ品ですから一度美顏洗粉を御用ひになりました方は必ず其品質効用に御滿足遊ばされ、引續き愛用せられますので、此の洗粉は今大變な人氣になつて居ります。

美顏白粉、固煉美顏白粉、美顏ユーマー、白色美顏水、美顏水、美顏洗粉、美顏石鹼、美顏クリーム、肌色美顏水

發賣元　桃谷順天館
製藥所　東京市日本橋區本町四丁目(電話本局三三〇・一六二六・一六二七番)
實驗所　東京市麴町區有樂町一丁目(電話新橋一六一三・二六三九・三六一四番)
製藥所　大阪市西區靱南通二丁目(電話土佐堀六四七・六四八・南三一二八番)

日本郵船出帆
大連、天津、牛莊行
濟州丸　七月　日正午出帆
高砂丸　七月　日正午出帆
相模丸　七月　日正午出帆
都合ニヨリ早發スル事アルベシ
仁川海岸町二丁目電話十番

共同汽船出帆
阿波
▲青島大連行　第十一共同丸　七月　日午後入港　日正午出帆
▲青島直行　第十六共同丸　七月　日午前入港　日午前出帆
▲秦皇島行　第十三共同丸　七月　日午後入港　日正午出帆
共通取扱　鐵道主要驛にて荷客運輸交通各港行定期船積荷取扱
仁川代理店　阿波共同汽船株式會社　本町四丁目電話一七三番　野口商會
元山代理店　田口　同
京城取次店　南大門通二丁目電話八二　河村運送店

尼崎汽船出帆
仁川木浦下ノ關大阪行
赤心丸　七月　日後四時出帆
一心丸　七月　日後四時出帆
神代丸　七月　日後四時出帆
秀吉丸　七月　日後四時出帆
君代丸　七月　日後四時出帆
大第一嘯丸　七月　日後四時出帆
印船客御斷
仁川海岸通二丁目　電話九番　高杉回漕店

五光商會汽船出帆廣告
元山、西湖、城津、淸津行　第二慶北丸　七月　日釜山發
門司、宇品、神戸、大阪行　第二開城丸　七月　日元山發
釜山　大池回漕部
元山　田口回漕店

朝鮮郵船出帆
▲敦賀行　浦潮、城津、元山經由　七月　日
▲浦汐行　越後丸　七月十五日　元山發
平安丸　七月　日　淸津發
▲雄基行　平壤丸　七月　日　釜山發
成鏡丸　七月十八日　元山發
▲元山雄基線　鏡城丸　七月　日　元山發
▲大阪行　忠淸丸　七月二十一日　釜山發
▲關門行　雄基丸　七月十九日　元山發
京畿丸　七月　日　釜山發
▲濟州島行　昌平丸　七月　日　釜山發
▲濟州島行　西廻　公州丸　七月十三日　木浦發
東廻　慶興丸　七月　日　木浦發
▲釜山濟州線　順天丸　七月　日　木浦發
▲木浦行　仁川發各地經由　七月　日
▲多島海行　慶興丸　七月　日　木浦發
▲江華島　七月　日　仁川發
▲鎭南浦行　晉州丸　七月　日　仁川發
▲大連青島行　江原丸　七月　日　仁川發
本社　京城南大門通(電話長三三)
釜山支店　元山出張所　仁川代理店　木浦代理店　京城荷受取扱店
其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ

京義線(南行)　同(北行)　京釜線　同(南行)　同(北行)　京元線　湖南線　馬山線

京城日報
(年中無休刊)
本紙定價　一部參錢　一箇月七十五錢　郵税一箇月前金△貳
廣告料　五號十四字詰一行一圓五十錢
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號長六千九番　振替京城三〇三番

大正八年の世界地圖(二)

志賀重昂氏談

今次の世界戰亂は敵四箇國、聯合國側二十八箇國入り亂れての大戰、つて講和會議後に於て世界地圖の彩りに著しき變化を生ずるは當然であらう、以下其の概略に就き述て見たいと思ふ、元來地圖は見るものに非ずして實は讀む可きである例へば彼の有名なりし間島問題の起りたる當時盛んに地味の肥沃水利の好否等專ら經濟的見地より論議されたるも其實吾が北海道又は北日本より滿洲の中央を抑へんが爲めには一度牢品に兵を集め海路大連に上陸し北進して遼陽に達し奉天を過ぎ漸く吉林に達し茲に始めて滿洲の中央部に達し得るのである、然るに直路北鮮の清津に出で間島を經由せんか距離に於いて殆んど圖と直線に等しき地理的節約が明に得らるゝ之れ間島を吾に收めざる可からざる所以であつた、更に日米親善の聲久しふして能はざるもの亦地圖を讀む事に依り極めて容易に理解せらるゝであらふ即ち米の太平洋岸に於る完全なる防備はサンデゴの大軍港より布哇のパール灣、グアム、比律賓の各軍事根據地が連ね國防上の一線を作し此線上に吾伊豆七島以南の諸群島は弓狀に横はれる譯で所謂枕を高くして睡る能はざる狀態にあつた、然るに今回マリアナ、カロリン、マーシャルを吾等管理下に收め得たる結果彼の威嚇を横斷し且つ該諸島は千三百六十有餘の珊瑚礁たるを以て天然の大防波堤となり如何なる大艦巨船をも容るゝを得可く自然枕を高くし得る事となつた、這の太平洋上に於ける平和の保障は頓て兩國の親善を高むるに相違ない、之等の消息よりして地圖其者は時に外交家たり又參謀家たる働きを持つて居ると云ひ得らるゝのである而して豫替ら可き世界地圖の變化に於て亞細亞大陸は何うなるであらうか先づ西伯利の解決は未定なりとするも、吾日本の如き既にオムスク、ハバロフスク、ブラゴエチエンスク、イルクーツクの四箇所に領事館を開設し大に爲すあるを示しつゝある、更に中央亞細亞に至りてはブラハ、コーカサス、ビバ其の他の諸國孰れも民族自決を叫んで自立し、コーカサスの南方なるアルメニアは米國を中心として不斷に試みつゝあつた獨立計盤に對し土耳古の起ちて獨逸を援くるや直に聯合側に投じ世界の富なる財力……猶太人に及ばざるも……と從來よりの米國の親交とを頼み遂に其委任統治下にシリア亦吾が明治廿六年佛國が土耳古政府より鐵道敷設權を獲て今次の戰亂中尚其工事を續けたる程の關係上同じく佛國の委任統治下に置かるゝ事になつた更に其位置地中海に瀕し全世界に散在する凡一千萬乃至千二百萬の猶太人は英、獨、佛の齊しく戰後經濟界の恢復には之れを手中に丸めざる可からずと崇みつゝある程の富を提げ既に大正六年十一月英國をして其新建國を公言せしめ超ゑて翌年佛、伊、希和諸國の承認を得て居る。

佐々木君の小作農保護計畫に就て(三)

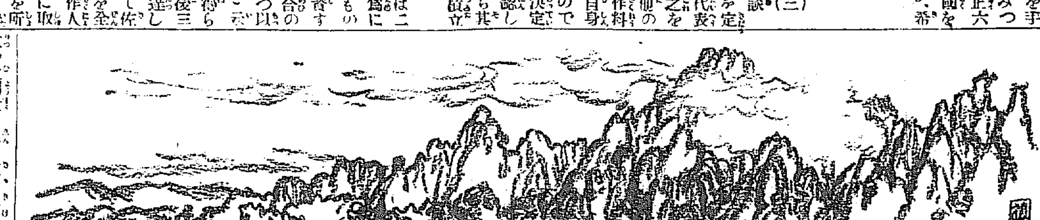
小原農商工部長官談

而して佐々木家が小作料を定むるに當つては小作人の代表者をして任意に協議的に之を査定せしめる換言すれば他の地主が徴收する隣地の小作料に比照して適當に小作人自身をして之を決定せしむるのである即ち佐々木家は只其決定したるところのものを承認し而して其の小作料の中から其の額の一割を彼等の爲に積立てしむるのである

ところで其の積立金の目標は二十萬圓と定めてあるが之が爲に毎年約三千圓宛を積立つるものとし之れを朝鮮の農園に投資すれば(佐々木君は小作人組合の爲に一時代辨して朝鮮に先づ以て農園を開く考へであると云ふ)年々約一割の純收益は得らるゝから復利の計算で設立後三十年の末には略二十萬圓に達し朝鮮に於て優に其收益を以て佐々木家に納入すべき小作米を全部納入し得るに至り即ち小作人は小作地の收穫全部を自分に取得することが出來恰も土地を所有すると同樣の利益を得るに至ることになると云ふのである否寧ろ土地を所有する以上の利益を得るに至ると云ふのである何となれば土地を所有すれば國税、國税、町村税等の公課を負擔せねばならぬけれども何等の公課を負擔せずして小作地の收益の全部を獲得するを得ると云ふから自然さう云ふ結果になるのである

(四)佐々木家の補助　前に述べた如く佐々木家は小作人殖産組合に對し設立の初年に基本金として三千圓を[illegible]毎年定額小作料の一[illegible]の代金約三千圓前後を補助すると同時に組合[illegible]て別に毎年一千圓宛を補助[illegible]然し組合基本金が二[illegible]た後には此の二萬圓の[illegible]益を年一割とするも二千圓は得られるから最早組合に經理の補助をする必要のないものと認めて補助を止めることとして居る其他組合創立の費用數百圓も佐々木家より支出する尚毎年陽春四月の好季をトして組合の定時總會を開くと同時に小作米品評會を開き優良者に對し一等十圓以下夫々等級を付して之を表彰し其の經費約三百圓と云ふものは是亦佐々木家より支出することになつて居る而して尚此機會を利用し岡山公園の櫻花爛熳たる下に於て佐々木家は小作人と共に懽和樂を恣まにすると云ふ仕組になつて居る

(五)組合と小作料減免　組合は自治的に定額小作料を[illegible]すると共に作柄不良なる場合にも組合は同じく自治的に小作料の減免を決定するのである斯樣に佐々木家は小作料減免の問題に就ては何等直接に關係せぬから從つて小作人の代表者たる組合長以下の役員が之に就て全責任を負ふのである作柄不良の場合に於ける小作料減免の方法は一割迄の減免に付いては組合長が即決し地主は只之に對して容認するのみであるが若し一割以上の減額を要する場合には組合の役員が協議の上で之を決定するのである而して此の場合にも地主たる佐々木家は只之を容認するに過ぎぬけれども佐々木家は組合に對し組合が決定した小作料減免に相當する額を補助する形式を採ることになつて居る蓋し各小作人が其の小作料を直接佐々木家に納めないで一旦組合が之を徴收し組合から佐々木家に納入する形式を採つて居る以上佐々木家は其の減免額を組合に補助し組合をして定額小作料を完全に納めしむると云ふ形式を採ることが正當であるからである而して組合積立金が四萬圓以上に達した場合には之が收益を年一割とすると四千圓以上となり之に毎年積立つべき三千圓を併すれば年七千圓以上の組合收入があるから萬一不作に遭ひ減免を行ふも右の年收七千圓以上の金を以て充分其減免額を償へ得る見込みが立つので其の以後は佐々木家から全く補助しないことにし組合は恰も此の四萬圓の金を小作料減免の基本金とした同一の形になるのである



圖

金剛山スケッチ(九)

上八潭の大觀　古賀新雄

九龍淵上の八潭を究めむとせば九龍淵より路を跡つて溜潭橋に出でて進むべし、或は兩手を以て岩壁を攀ぢ或は鉄梯に倚りて峻險を攀づる、業樹の倒れて自然の架橋となるを渡つて進む一歩は一歩より險にして細路既に盡きては只峰頭を目標として踏破するに外なく、大行の險、蜀道の難も恐らく之に比すべくもあらざるべし、攀登廿余町にして頂上に達す、松樹絶壁に[illegible]を摑みて遙か溪谷を俯瞰すれば九龍淵の源流潭を作つて流る、潭や碧玉の如く八潭相連なり、流や白絲の如し、けだし、神秘を以てせば山中右に出るものなからむ、峯上毘盧峰を背にし前に日本海を望みて立てば、左右の石峰、秀を競ひ、雄を爭ひ、遠く雲烟の間に其の壯姿を沒す、呼嗚此大觀、其壯美萬二千の衆峰別に一乾坤を作ると云ふも過言にあらざるべし(終)

錬膽錄

三笑屯

愚堂和尚

◇畏くも、後水尾上皇には、深く禪要に御心を傾けさせられて居た。上皇は、時々清涼殿に法座を敷き、愚堂を召して、百僚と共に、宗乘を簾中に聽聞せられることを、無上の樂みとして居られた。

◇一日、上皇は、和尚を召して『迷人と悟人と死後如何』と問はせられた。和尚は『不識』と御答した。更に『何に因つてか識らざる』と問はせられた。すると和尚は『山僧いまだ死せず』即ちまだ死んで見たことがないから、死後のことは存じませんとお答した。是れは、生も安如、死も安如たるを得る禪の活機要を示したわけであるが、上皇には尚は御滿足が出來なかつた。そこで和尚は更に本分のことを奏上し、上皇は、其の座に於て、御省覺があらせられた。

◇徳川家光も、和尚の道風を聞き、特に使を遣つて引見した、が、和尚は、面謁すると臆面もなく『大將軍、老僧を召されて一體何の御用がござるか』と言つた。家光も、これには遂に一語も酬いることが出來なかつた。松平大和守も和尚を屈請して、法要を問ふた。すると和尚は『法を求めて何にかなさる』と云ふ大和守も、何とも答へが出來なかつた。

◇保科肥後守定之も、曾て和尚を私邸に招いて、教へを請ふた。座に一人の儒者が居つたが『雷は我が儒家の説に依れば陰陽の致す所であると言ふのであるが、佛家に於ては、何と説かれるか』と、問難の一矢を和尚に放つた。和尚は、顧みて後の衝立を叩きながら『雷』とは斯んな大聲を出し、『轟々く』と言ふのぢやと答へた。儒者は、口を噤し、避易して退き去つたが、定之は、流石に禪要に心を傾けて居るだけあつて『あゝ眞の禪師ぢや』と稱嘆した。

◇死後の消息を問へば、まだ死んで見ないから識らぬと答へ雷は何だと訊けば『轟々く』と大聲をして、斯んなものぢやと云ふ。將軍も諸侯も、その高風に壓せられては、宛然兒供か人形のやうなものであつた。和尚の如き境界は、固より何人にも容易く企及し得べき所でなく百錬千鍛の後始めて得べきであるが、世に處し、人に接して、常に凜乎弘毅、天眞率直なるを得る根底に就いては、各人分に應じて、その氣宇、その心膽を養ふことに努めなければならぬ

自動車
學生募集　日本自動車學校
速成科　三ヶ月
自動車講義錄　卒業
飛行機講義錄
詳細は東京羽田穴守日本自動車學校へ
自動車運轉手技術者養成新學期八月一日
大家執筆　設計製作等　圖解　校外生卒業者　收入頗る多し
日本自動車學校

名義書換停止公告
當行定款第二十四條に依り來ル七月二十一日ヨリ通常株主總會終了ノ日迄株式名義書換ヲ停止ス
大正八年七月十五日
朝鮮銀行

一ヶ年卒業
實業講習錄
年若き人々よ努力せよ實業の新知識を求めよ人格を磨け是れ立身出世の近路なり現代に於て實業の知識無き者は盲目で夜道を行くが如し
此講習錄を必要とする人々
小學卒業生　上の學校へ入れぬ人で直ちに實業に就く人
中學卒業生　實業の知識を求める人で其職業に適じ度き人
商店工場員
銀行會社員
婦人　男子に對抗し働く人
講習科目
現代に最も必要な學科目を網羅せり
△商業簿記　△銀行簿記　△工業簿記　△商業通論　△商業各論　△工業通論　△化學工業　△商店實務　△工場實務
△經濟學　△商業英語　△商業數學　△商品と地理　△珠算と暗算　△商業作文　△實用習字　△新處世法　△科學講話
大懸賞
壹等　一人に付　參拾圓
貳等　一人に付　拾五圓
參等　一人に付　五圓
四等　一人に付　壹圓
注意　懸賞問題は誰にも出來る極めて簡易なもの也
總裁　大隈侯
會員大募集
副總裁　澁澤男
大特色
學科　は新時代に必要な科目
講師　は現代第一流の人々也
文章　は平易で全文總振假名
講義　は誰にも分る親切
卒業　は僅に一ヶ年で出來る
獨習　は自宅にて自由に出來
毎月一回
會費　一ヶ月七十錢　三ヶ月二圓　六ヶ月三圓八十錢　一ヶ年七圓三十錢
見本無代進呈
講習錄見本入用と記し御申あれば速に送附す
東京　振替　四〇一六　日本橋
帝國實業講習會

謹告
予儀不徳の致す處より地方法院檢事局に於て刑事事件の取調を受け居候處本月十日不起訴と決定相成申候茲に於て右事件の起訴に相成らず今日に至り候段一に皆樣の御愛顧の賜に相生じ特に御厚意を蒙りたる御方々へ御禮申上候
大正八年七月十一日
大邱　田坂寛藏

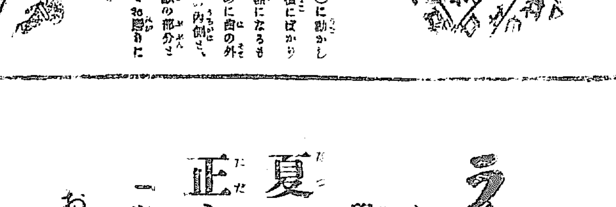
矢野テント
天幕雨覆日覆製造販賣
並ニテント貸付仕候
大阪西區北堀江　矢野テント商會　電話西長三六二一五〇一番

進呈
特許商標の理論及出願要項を詳說する特許の栞と題する冊子を呈す希望者郵券貳錢送れ
大阪市道修町御靈筋角
石特許事務所

空氣タイヤー　丸タイヤー
自用車　營業車
附屬品一切　卸小賣
サクラタイヤ
朝鮮一手販賣
京城黃金町二丁目一二九
イバラキ商店
電話二九二七番　振替京城九一七番

醇良清酒
大阪府堺市
醸造元　合名會社　肥塚商店
京城本町二丁目
特約販賣店　佐藤牧商店
電話一九〇五番

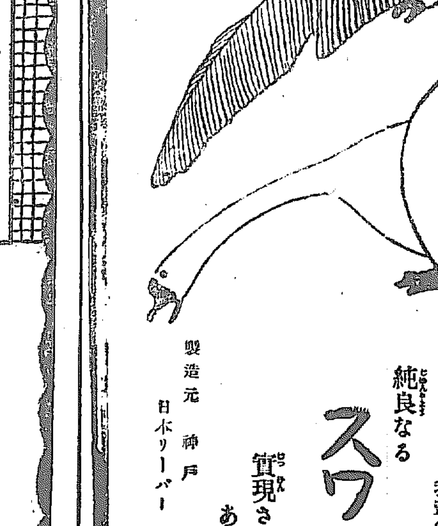
諸車製造
樫板卸商
福岡市博多片土居町
村上本三郎
電話一二二五番　振替一〇七七番



正しい齒の磨方
齒を磨くには、齒刷子を上下(縱)に動かして、やはやはとお磨きなさい。横にばかりごしごし擦つても決して齒は清潔になるものではありません。先づ一番初めに齒の外側を磨き、それからだんだんに齒の內側と、咀嚼面と、齒と齒の隙間と、齒齦の部分とを丁寧にお磨きなさい。かうしてお磨きになれば、齒は全く清潔になります。

ライオン齒磨をお使ひになる學生諸君は夏休みの間に正しい「齒の磨き方」をお習ひなさい。

ライオン齒磨　ライオン齒刷子
本舖　小林商店
支店



▼我輩は「スワン」である。我輩の高遠の理想は純白である。我輩の高遠の理想は純良なるスワン石鹸によつて實現さるゝのであるんである
製造元　神戸　日本リーバー　ブラザース株式會社

藥品の眞價は實効にあり
脚氣病特効藥
ベリスチン
脚氣病に就き未だ特効藥なきを恨事させるや久し茲に東西の諸學說に基き多年研究の結果少量の內服にて奏効顯著なる製品を提供せり切に大方國手の御採用を懇請す
△粉末　△丸劑　△注射液あり
發賣元　大阪市東區道修町三丁目　田邊五兵衛
大阪市東區平野町二丁目　岸田市兵衛
東京市日本橋區本町四丁目　田邊元三郎

對獨封鎖解除

聯合國最高會議は七月十一日以降對獨封鎖を解除する事に決定せり(巴里電報)

國境審議終了

最高會議はチエック、スロヴァック國境審議を終了せり(巴里電報)

英紙獨帝審問評

モーニングポストは前獨帝審問に關し論議を加へ唯一の英國新聞なるが前獨帝に對し合法的審問を行はんと云ふ思想を以て笑ふに堪へたりとなし曰く和蘭は君主國也和蘭にして前獨帝を保護するに決せば之を動かすべき何等の法律無し但し聯合國は和蘭に引渡しを強請するやも知れざれ共其の場合には非法律問題に非ずして權力と努力の問題なり然してウイルソン氏は死刑を科せざる條件の下に前獨帝の審問に同意したりと云へりされば若し死刑を科せざるは豫定せられ得るものとせば云ふ處の審問は法律に根據せざるものなるのみならず又實に正規を拋棄するものと云ふべし(倫敦電報)

佛國首相聲明

クレマンソー氏は聲明して曰く講和條約の主義方針は世界平和の爲め必要のものにて我等は國際聯盟を完成せしめ戰爭責任者に對し審判を爲さざる可らず(巴里電報)

獨民有財產徵收

獨逸政府は民有財產徵收の宣言を爲せり(倫敦電報)

亞國聯盟加入

南米亞爾然丁共和國は國際聯盟加入の決議を爲したり同國は聯盟加入承諾先頭第一の國なり(倫敦電報)

輸入禁止令廢止か

佛首相クレマンソー氏は同國現在の輸入禁止令を殆ど總て廢止するの法令に調印せり(巴里電報)

西園寺侯歸佛

渡英せる日本講和全權大使西園寺侯は十日英國皇帝に拜謁十一日歸佛せり(倫敦電報)

官吏增俸案提出

佛國藏相は官吏大增俸案を議會に提出したり(巴里電報)

英通商大臣辭職

英國海外通商情報大臣サー、スチール、メイトランド氏は辭職せり(倫敦電報)

暴利阻止運動

英國にては生活上の必要品に對し暴利を貪る事を阻止する爲め政府をして強硬手段を執らしめんとする廣汎なる運動各種勞働組合間に行はれ居れり今や政府をして價格管理を繼續する必要を痛切に感ぜしむ可く當局に對する各種勞働會議の聯合代表委員の選定を終れり(倫敦電報)

曹軍隊形勢不穩

南北苑に駐在せる曹錕軍隊の一部は其手當を得ざるより稍不穩の兆あり或は騷擾を惹起すべしとの流說盛んなり(北京電報)

總代表錢能訓か

總統府は錢能訓氏を和平總代表とし南方の同意を得たるも錢氏の態度未だ決せず(北京電報)

施肇基辭職申出

駐英支那公使施肇基氏は講和會議の責任を負ひ辭職を申し出たるも國務院は慰留の電報を發せり(北京電報)

獨逸政界動搖 硬派政府攻擊

……ばれ不幸の歷史的時期に當て……の味の組織せるものにして又將校……協約は舊獨逸帝國の將校及び官……し目下政府に肉迫しつゝあるが……派は飢饉政府攻擊に熱……最近伯林の有識者間に於ては內……

龔總理承認決議

十二日安福俱樂部は總會を開き田文烈、王揖唐兩氏既に總理たるを肯ぜざる結果現代理總理龔心湛氏の正式總理に同意する旨決議せり徐總統段祺瑞氏等の希望する周樹模氏に對しては半數以上の反對ありたり(北京電報)

佛國軍艦來着
盛大なる神戶市の歡迎

佛國政府より我國派遣の同國巡洋艦デストレー號は十二日午後一時半神戶入港投錨したり右に就き神戶市にては同艦乘組員を十五日午前十時より聚樂館に招待し有吉知事市長代理助役其他出席盛大なる歡迎會を開き種々餘興を催し長途の勞を慰安し尙政府は乘組員歡迎の爲め鐵道電車の無賃乘車を爲さしむる事とせり(東京特電)

後貝加爾州農作豫想

後貝加爾州本年度農作豫想は平年以下にて右は一般に氣候寒冷なりし事雨量少く乾燥甚だしかりし事及び風害等の爲にて州內農民中播種し得ざりしもの少からず從つて齊多地方の糧食問題は本年度も尙ほ緩和さるゝ見込なく注意す可き事態なりとす(某所著=東京特電)

四名士寺伯訪問

秋山靑島民政長官、本田參事官、大島大將、靑木中將は十三日何れも大磯に寺內伯を訪問せり(東京特電)

由比中將東上

浦鹽派遣軍參謀長たりし由比中將は軍情奏上且つ當局と打合せの爲十四日午前八時四十分東京驛著入京せり(東京特電)

早慶兩大學改造
女子の入學を許す

早稻田、慶應兩大學は今回大改造を施し共に女子の入學を許すこととせり尙早大にては高等豫科を高等學院と改稱し新に大校舍を建築する由(東京特電)

日本援助感謝
西伯利新聞所載

客月十四日オムスク市發行ルスカヤアルミヤ紙記載に依れば露國赤十字社は六月十二日オムスクに於いて日本より寄贈せる貨物を受領せり而して該貨物は日本赤十字社の贈與に係り當地方に於て最も缺乏を感じつゝある醫藥品類にして其の數量六百二十五封度百八十七種なりこの貨物には西伯利經濟援助委員長の書簡を添付し且附記して曰く西伯利に於ける醫藥衛生材料の缺乏に因る貧困病者の窮狀を救濟せんと欲する當會の行爲は將來永く日露兩國の親交を鞏固ならしむる上に於て多少の貢獻あるべきことを期待すと猶日本赤十字社に於て浦鹽、ハバロフスク、チタ、ニコラエフスク、アレキセーフスク、ウエルフネウジンスク、イルクーツク、ブラゴウエシチエンスク、オルチンスクの諸地方に對し醫藥及び……

明年歲入豫算
自然增收を見積る

大正七年度の剩餘金は早くも八月末に至らざれば稍正確なる數字を知るに由なきも今日迄の歲入狀況が頗る良好なりしに徵すれば少くとも二億圓或は三億圓近くの剩餘金を生ずるやも知れず但し七年度剩餘金が斯く巨額に上るは主として同年度の歲入超過が少くとも一億數千萬圓を算すべき狀態に在るが爲にして而も七年度に於て一億數千萬圓の歲入超過額を生ずるは同年度に於て財界が好景氣なりしに因ること勿論なるが一には又七年度の歲入豫算の見積りが元來內輪に過ぎたるに原因するものなり而して八年度歲入見積りも內輪にも失せず然ればとて過大にも失せず

歲入の實況に

適切なる見積りを立つるの方針を取りたる結果八年度の歲入豫算額は七年度の歲入豫算額に比し約二億圓の增收を計上したるを以て八年度に於ては七年度に於けるが如き多額の歲入超過を生ずることなかるべしと雖も現在の收入狀況より推測するに八年度に於ても相應の歲入超過を生ぜんこと疑ひ無しと云ふ財政當局者は以上の事實と財界の趨勢とを基礎として九年度の歲入豫算につき樂觀し就中關稅收入所得稅などは八年度に於て可なりの增加收入あることを信じ居るもの、如し尤も所得稅、營業稅、印紙收入郵電收入等は何れも

景氣の消長に

伴なうて增減するものなれば九年度に於て財界が意外の不景氣に陷る場合は其歲入に減少を來すべきも然らざる限り九年度の歲入は八年度に比し增收を見込り得べしと做し九年度歲入豫算には少からざる自然增收を見積るべき筈なるが如し(東京)

物價調節方策
原因は通貨膨脹

近時物價の昂騰甚だしきに加へ今後更に昂進の狀勢あるは官民共大いに戒心を要すべし

騰貴率 試みに大正三年六月の物價より七年十二月の物價を比較するに左の如き騰貴率を示せり

一般物價、金屬類六割六分燃料一八割三分、衣服原料一三割三分、穀類二割三分、木材板類九割九分、穀類加工品八割一分、雜品七割五分、總平均數十三割四分

必需品 食料品一〇割七分、衣服材料一三割三分、燃料木材一四割一分、衣食住總平均數一二割七分

卽ち一般物價は戰前に比し十三割四分生活必需品は十二割七分の暴騰を呈し而も物價の騰貴は勞銀の昂騰を呼び資本の利潤を增加するを以て一般經濟界をして活氣を呈せしむると雖も他方公債社債の利子若くは定收俸給によりて衣食するもの、生活は之に依りて甚大の脅威を受く而も財界の好況は徒らに泡沫會社の濫造を促す事を以て益々物價の暴騰を誘致す

通貨膨脹

況んや其の結果資本家は彌々富み勞働者は彌々生活の窮迫を告げ其處に富の分配に大不公平を生じ延ては社會狀態に由々敷大問題を惹起せんとするに於てをや、物價の騰貴は種々の誘因より生ずと雖も通貨膨脹は其最大原因なり卽ち戰前三億七千萬圓の通貨は今日十億以上に達し正貨は戰前の三億圓より十六億圓に上り其他小切手、手形振替等の信用膨脹を加算せば莫大なる額に上るべし

調節策

宜しく物價調節の三策を以て最も穩當とす

(一)貯金利子引上 現行郵便貯金利子は年四分八厘也一流銀行の利率年五分八厘二三流は六分五厘なれば之を平衡せしむるを要す

(二)外國放資 國內十六億の正貨今日尙方つて之を悉用せられつゝあり依つて大々的に對支放資を爲すべし之原料確保の上にも大利益あり

(三)公債發行 今日の資金は回收を計らざるべからず特に小額公債を發行し遊金の資本化を必要とす之を以て築港交通機關道路水道瓦斯事業の整理を行ふ外都市社會政策として行ふべきもの多々あり(藤山雷太郎氏談=東京)

西伯利の近情
過激派の出沒=危險區域突破
我軍隊の感激=世界寶庫開發
衆議院派遣團長 東代議士談

衆議院西伯利慰問派遣團長東代議士は十四日京城通過歸東せるが其の西伯利談に曰く吾々一行は六月十三日浦鹽上陸以來三十餘日殆ど汽車を家として旅行を續けた最初は烏蘇里線からアムール線に出づる豫定であつたが途中過激派出沒し吾が軍隊との衝突あり又橋梁を破壞し危險であつたから

豫定を變更

し先づ浦鹽より哈爾賓に行き滿洲里に出て東支鐵道を通過し再度アムール線に入りハバロフスクに出た當時尙過激派の出沒して危險極まりなき烏蘇里沿線を軍隊に護衛せられ砲門を備へ付けたる所謂裝甲車に乘じ危險區域を突破し兎に角豫定の行動を了り各所の軍隊を慰問し其の總數

九十七回

に及んだイマンでは丁度島の第五師團の將校等の到着した際にて之をも慰問するを得た吾が一行の軍隊は其々の慰問を受け誠に感激の情溢れ居りしやう見受けた予等の吾が軍隊を訪問した事は其の健康上にも勤務上にも至極良好なる ここで勇壯無比軍規節制あり物資の缺乏水質の劣惡等其の不順の困苦缺乏に堪へて何等の不平なきは誠に感激の念に堪へなかつた此の點に酬ゆるに國民一般は地方的でなく擧つて西伯利派遣隊に一層應援精神の發揮を望む所である又

過激思想

が吾軍隊中に再波の恐れは毫も其の形跡を認めない吾軍は西伯利の慘狀を目擊して却つて反對に過激思想の恐るべく戒むべきを知つて居る樣である西伯利に於ける鑛業林業漁業農牧業は世界寶庫の開發を要する事にて人類文明の爲にも必要にして吾日本人の經濟的發展を必要とすると同時に頗る困難事にて誠に爲政家の留意を要する點である浦鹽のホルワット、後貝加爾のセミヨノフ、ハバロフスクのカルメコフの三人は吾軍の後援により今日ある中心人物である何れも腹の底より日本軍隊に感謝して居る日本は機關を設け彼等と連絡を保つて居る吾等一行は頗る健全にて一名の落伍者をも出さず責務を盡し得たのは欣幸とする所である

前川代議士談

浦鹽哈爾賓は最初より日本軍の上陸地にて一般露西亞人は過激派の掠奪等の禍害を蒙り居らざるを以てレーニン、トロツキー一派の遊說員の宣傳を信じ吾軍の主義に浴し能はざる如く誤解せるもの無きにあらざるも後貝加爾等の奧地及び亞米利加の管理せる東支鐵道の一部等過激派の掠奪を蒙り其慘害に惱みたる地方にては一同吾軍の派遣を望み派遣されざるに於ては現に……

中村書記官談

……選ばれ居る地に轉任せんとするものさへ生ずるに至れり 西伯利に於ける鐵道輸送狀況は各線を通じて餘程改善せられたりと雖も今尙貨車客車共に不足して其乘車の際の如き宛然戰場の如き有樣にて乘客は辟易し發着時刻は多くの場合二三時間乃至四五時間の遲刻ありて正確と稱し難し

官制改正問題
大塚參事官談

總督府參事官大塚常三郎氏は過般來東上中の所十四日夜歸任した『今回は母の病氣で一寸東上したまでゝ何の御土產も持たぬ總督府官制改正の問題も愈今日(十四日)午前十時から樞密院會議が開かれて決定するさうだ若し十四日一日で濟まぬ時は更に引續いて開かるゝか否やは分らぬまあ萬事は此の會議で決定するのだから一兩日の事だ內容か、內容は僕等の係り知る所にあらずサ……、滯京中李王職の某伯が面會を申込んで來られて居たが到頭東上して居つたので何の用事で東上して居るか知らないが、聞けば誰かに少々お金を取られたさうだ氣の毒だね』

公債發行影響
足立瀧二郎氏談

今回公債八千萬圓發行の發表は早くも株式界に影響して株價の低落を見たるも一般金融界に及ぼす影響は其債券の性質が既に一時國庫に吸收せらるゝも何れ民間に撒布さるべきものなるとは軍需品購入資金となりて再び又膨脹せる金融界の現狀にて格別の影響を蒙らざるべしとは從て今次の公債發行によるも幾何の程度に於て物價の低落を誘引し得るか少くも騰勢を抑制し得るかは疑問なるも物價昂騰生活難の喧しき時に當り公債の發行は頗る有意義のものにて又時期を得たるものと謂ふべし

奉天吉林財況

吉林、並奉天に於ける六月中の商況及び金融狀況に就き聞くに左の如し

▲吉林 前月吉省通過の崩落に依る一般商況の不振は月初商節前決濟期の難關を懸念せられたるも……

期米爆發
先限四十圓台

仁川期米の十四日後場は前場の沸騰的模樣に引續き大阪前場の暴騰並に正米高に徒買氣を刺戟し中米四十圓六十錢より七十錢と躍騰先限は一氣に四十圓臺を突破して寄り附き二十錢高

値六十五錢と熱狂

相場を現出し安値二十錢止め五十三錢と強硬の成行きなるが此上期米の伸力が何處まで延び得るか此の期米高が正米を如何に刺戟するかは疑問ながら目先高ほ多少の上値を示すにあらずやと

期米大取組
三十餘萬石

十四日後場は手數料値上後の第一步にして其の取組高の增減は徵して人氣の熱上を見り居りしが相場沸騰の際とて出來高も多く中限七千三百石先限十二萬二千石合計十三萬石の大を示したるが前場二十二萬石と合せ當日の總取組高は三十五萬石を示し稀有の大商盛なりき

金利引上未定

政府は物價調節のため通貨收縮の意あり日銀の金利引上說喧傳されしも金利引上よりも民間遊資の公債化を急がしむる事こそなりしもの・如くその第一著手として國庫證券八千萬圓の發行を見るべき模樣となり今後は益々社債類の續發を見るべく金利引上の急施は政府に於ても此際之を避くる事となりしもの、如し

代議士團通過

衆議院西伯利派遣慰問團たる東、前川、橫井、古川、藤野の各代議士中村書記官鈴木砲兵中佐等一行は十四日夜京城通過歸東せり

國分長官歸期

官制改正並に事務打合せに關し東京滯在中なる國分司法長官は來る廿三日頃歸任すべしとの報あり

出張命令(十二日附)

總督府技師 永井松次郎 築港設計事務打合並に計畫に關する調査の爲元山、淸津に出張を命す

同 大久保七熊 煙草狀況視察の爲慶北、忠北、忠南、京畿、全北、平南に出張を命す

小樽高商生動靜

滿洲視察中なりし小樽高等商業學校生徒約廿名は廿五日安東より來城京城仁川等を視察し廿七日南大門發釜山に又京都府立第二商業學校職員三名生徒約三十名も滿洲の視察を終へ卅日安東より來城京城仁川永登浦を視察し一日永登浦より乘車釜山に向け出發何れも歸校の途に就くべし

人事消息

▲大塚常三郎氏(總督府參事官)東上中の所十四日夜南大門着特急列車にて歸任

烏瞰錄

▲十三日……擧げた催行社……子寶會は豫想以上に盛況を呈し子供にも增て兩親の方が大喜び『斯うした會合は屢開いて貰ひ度い』と發企者側に向つて陳謝してゐる▲宇都宮軍司令官が子供に交じつて風船玉を飛揚するとヲヂさん僕にも僕にもと袖にすがるのを見た翁が『ほんとに子供は神樣だ』と頻りに感嘆してゐた▲聞けば子寶會は今の事業として漸次世界各國の玩具や子供の手工品やらを集めて子寶會に陳列し坐らにして世界各國の子供氣質を研るやうにし又桃太郎の軸や玩具などを飾つて桃太郎主義を鼓吹するさうだ▲我がお伽噺の祖先桃太郎君は全然精力主義であり向上主義である其の行動たるや勇往邁進よく日本人の性格を表徵してゐる▲而も猿や犬や雉子を手の裡に收めて統一する雅量を有するに至つては確かに大偉人たるを失はぬ▲子寶會が是れを守り本尊として善々其の目的に向つて前進したなら其の前途に光輝あるは疑ひを容れぬ▲前途の幸福と健實なる發達とを祈る▲十二日の朝刊本欄に獨人ブレンナの妾で道子とか云ふ美人が特殊財產管理令に付いて何とか云つて來たと書いたが此のことも女は獨人の妾でも何でもなく全くの處女ださうだ▲米人のマッケー君と云ふ四十年も日本に居る先生の養女だとか間違つた處は記者の誤聞で申譯がない▲其他の點にも間違つた處もあるとか此の全文を掲げ彼の記事は取消す

▲鳥致院忠州間復舊

先般來鳥致院忠州間自働車水害の爲休止致居候處本日より復舊仕候尙京城方面の御旅客の便利を計り弊店に於て切符發賣仕候間御用命願上候

京城南大門通三 電話一〇一番 織居自働車部

純金彫刻入 寶石入指環品揃

ゾンズム双眼鏡(四拾五圓迄) 百圓迄種々 並双眼鏡甲 十五圓 乙 十圓 K18 縁ナシ眼鏡十三圓以上 K20 K18 𠜎縁鏡十五圓以上 K22 𠜎縁眼鏡十六圓以上 米國製甲五圓 金張乙三圓五十錢 眼鏡丙二圓五十錢 縁ナシ穴明四圓 ◎定價表進呈可仕候

□金銀懷中時計 實用萬年ペン 品揃□

京城本町二丁目 中村眼鏡店 振替京城三四六番

見よ!見よ 大評判の 蛇腹娘 來る 十五日より毎日 自午前十時 至午後十一時 明治町空地 但東拓前

忘れたまうな 食後に ゴルフ

ゴルフはダカヂアスターゼを主藥とせる美味の消化劑にして如何なる胃腸病にも驚くべき效能あり

定價 二十五錢 五十錢 一圓三十錢

東京室町 泰昌製藥株式會社 振替口座東京二七五七七

蠶種 本社特製白龍 定價壹枚金七拾錢也 御注文次第隨時出庫 郵便局なき地方は郵便切手にて御送付を乞ふ

蠶具 秋蠶飼育用、蠶種製造用、鏡檢用、製絲用、各種 定價表御申込次第進呈

繭絲 精繭、玉繭、出殼繭 生絲、玉繭、屑物、 賣買共に御相談に應ず

龍山驛前 東亞蠶絲會社 振替口座京城五一九九番

最新刊 大阪朝日新聞社編 八年運動年鑑 定價五十錢 世界大戰以來 大阪屋號

京日案內

乳母至急入用 京城南大門通五丁目六三 電話一七六四 早川商會

鮮人給仕採用 年齡十五六歲普通學校卒業程度 西村商會

恩給立替 西村商會

京城測量設計製圖 京城工務所

年金恩給 低利五ケ年分 京城工務所

記者及女事務員各一名入用 江州屋本店

外科醫助手(及花柳病) 大陸工商社

土管新荷着 戶澤商店

店員入用 菓子店に經驗有る者 吉門商會

給仕入用 年齡十四五歲以上二十歲以下希望者は自筆履歷書携帶來談あれ

故五男深堀文作葬送の節は遠路御會葬被下難有奉謝候乍略儀以紙上御禮申上候 八月十四日 父 深堀市次郎 兄 深堀元市 兄 深堀久衛門 親族 友人 一同

[illegible]…悪こなり隣所に同盟罷業勃發し[illegible]こ稱せらる今回合併せる國民協會は社會黨民主黨を斜する一ル政府が講和條約に調印するや

強硬派飛躍 現ハウェルダ大國、活動著るしく旺盛これが右黨內の强硬派こも連絡[illegible]

風鈴賣り (夜の本町所見)

小學生體育問題

揚弓を推奬す

精神の修養にも佳い

加藤幸右衛門

予輩は醫師にあらず教育家にあらず從て如何なる運動は兒童の筋骨の發達を助成し體育上に適合すべきや否やを知らず從て所見の淺薄にして識者の一瞥に値せざるべしこ信ずるも體育上につきて素養拙劣する所の卑見を述べ大方の敎へを請はんこす。現今各學校に於て行ひつゝある遊技運動器械體操、野球、庭球等の四肢の筋骨を發達せしめ呼吸氣管を健全ならしめ體育上神益する所少ならず是れ當事者が適當の運動こ認め全國到る處の各學校に勵行せしめある所以なりこ信ず然れごも是等の運動は**對手を要し**一人にて行ふ能はざるこ共に稍廣き運動場なくして行ふ能はず從て學校の如き廣き運動場を有する場所に於ては行ひ得べきも運動場なき家庭に於て單獨にて行ふ能はざる故に現時學校に於て勵行しつゝ器械體操又は庭球、野球等の外小學五六年以上の兒童に對しては學校に於て爲し得ん共に日曜祭日等登校せざる場合も**家庭に於て**相手なく單獨にて自由に行へ得べき運動即ち揚弓を暌推せんこす揚弓は現時職に行はるゝ庭球野球等の如く活潑ならざるを以て元氣旺盛なる學童には稍不適の感なきにあらざるも弓を把るや先づ姿勢を正しふし兩足を踏み張りて直立し双腕を伸ばし胸を開き的に向ふが故に四股の筋骨を發達せしめ呼吸氣管を健全ならしむる得かり且庭球野球等は軟弱なる體質**若くは病後**等の身體には烈しきに過ぐる場合なきにあらざるべしこ雖も揚弓は其身體の強弱に應じ適宜作製する事を得るの便あるこ共に其精神修養上に及ぼす效果たる到底庭球野球等の比にあらず古聖の言にも「仁者は射る者の如し射る者は己を正しふして後之を放つ放つて中らざれば己は勝つ者を怨まず之を己に反求するのみ」こ此の主旨を敷衍して日常學校に於て諸般の**成績の優劣**を生ずる所以なり朝夕兒童間に生ずる論爭の理非曲直の判斷並に學校若くは家庭に於て教師又は父兄より訓戒を受けたる場合に何故に訓戒を受けたるやを顧み反省せしむるに於ては精神修養に及ぼす效果顯著なるものあるべしこ信じ五六年以上の兒童に對し一般に之を勵行し健康の增進を計るこ共に思慮分別に富み沈着にして英邁なる第二國民を養成せられんここを希望す。近來學校に於いて**角力を奬勵**する向きなきにあらざるも角力は單獨に爲し能はざるこ共に弱き兒童には適せざる場合あり且甲乙力を競ひ優劣を競ふものなるが故に勝氣の強き兒童にありては敗れんこを厭ふ結果對手に噛み付き又は耳を摑み若くは顏面を掻き毟り負傷せしめ或は衣類を破る等往々不穩の行動に出づることあるのみならず遂には**甲乙相反目**して融和を缺ぎ黨を組みて喧騷せる事實なきにあらざるのみならず動もすれば監督を要する負傷等を爲すことあるを以て予輩は飽迄角力を排斥せんこす終に一言す揚弓には相當設備を要すとの論あらん孰れの學校に在りても校庭の週圍には板塀又は木柵を設けあるべきを以て之を利用し加工せば多大の費用を要せざるべしこ信ず

米國では婦人の間にわが柔道が大流行

今を距る十五年前米國モントリオのマチエール大學柔道教授に聘せられた元講道館柔道師範伊藤德保氏(五二)は七日橫濱入港のシベリア丸で歸朝したが氏は米國に於ける我柔道の現況を語る『我國の柔道が米國に紹介されたのは餘程以前で初めは**不思議な**技術こして素晴らしい評判であつた、それから柔道家の渡米が殖ゑ太平洋沿岸などでは興行までして人氣を集めて居た、其頃アナポリスの大學でも講道館の富田君を師範に聘した、處が其第一回の紹介の日に柔道を知らぬ二百斤もある一水兵が死物狂ひに後から緊め付けて身動きもさせぬ流石の富田君も閉口し**施す術が**なかつたので『柔道なんて詰まらぬものだ』こ輕蔑する樣になつたので今度からは敵が向つて來て捕まらぬ內は其出鼻を逆に取つたり或は行き成り捨身に行つて倒れた奴を緊めて落したりして柔道の威力を見せる樣になつたするこ今度は輕侮が恐怖に代り柔道は恐るべき殺人術だ抔こ言ひ觸されたがこれにも大分困つた揚句語學の出來る**同胞に賴**んだり領事館の人達に賴んで柔道は敵の力を利用するもので決して恐るべきものでない事を懇々說明して貰つた上種々の技術を學生や紳士に見せて步いた、其遣り方がよかつたこ見ゑ、細君や淑女までがやで評判がよくなり淑女までがやつて見ようこいふ事にまで漕付けた、其內に日本の大會社の支店長などで一段三段こいふ人が赴任する樣になつて社交界にも評判になる**眞面目な**倶樂部を作らうこいふので今大繁昌して居る紐育の運動倶樂部が出來た百疊以上も敷かれ會員は男女一千人以上を算する樣になつたが不思議な事には婦人稽古志願者が段々增し其後講道館の前田君や伊藤君が渡米し堅實に紹介して居られるから將來我柔道が全米を風靡するは近い事であらう只太平洋沿岸にチヨイ〳〵現はれる西洋柔道家の興行本位だけは戒して貰ひたいこ思ふ』

日支人衝突す

東淸線双城堡の椿事

原因は我內婦この口論から

邦人一名重傷を負ふ

東淸鐵道南支線双城堡の日本料理店喜樂亭へ去る八日夜數名の支那人素見に來り同店の酌婦こ口論し支那人等は不意に酌婦を縛り上げ狼藉を極めたるより附近居留の熊本縣人高見廣太郎(三九)山本藤太(三八)の二人駈け付け多數の支那人に包圍せられたるも屈せず遂に無賴漢の頭目を引捕へ縛り上げたるに支那人等は頭目を殺したりこて一層騷ぎ立て一千餘名の支那人彌次馬集り破壞掠奪を始めたるより高見山本及び酌婦等は辛うじて逃出したるが此椿事を聞き馳せ付けたる長崎縣人白倉仁吉(?)は支那人に毆打せられ重傷を負ひ一時人事不省に陷りたりこ(哈爾賓電報)

應召中の病者は

歸鄉療養を許される

召集規則が改正された

陸軍勤務演習召集條令の一部が改正になつた從來應召者丈けは其父母妻子の疾病危篤の際は召集部隊に到著すべき期日を延期することが出來てあつたのを今回は同一の戶籍面內にある家族の死亡及び本人住家の火災、流失倒壞其の他之に準ずる天災に際しては、市町村長に願出でて三日以內の應召延期が許可されることになつた、又應召中疾病となつた場合は、從來除隊にせず衛戍病院に入院させて居つたが、今後は希望によつては歸鄉療養させることになつた

朝鮮に親しめ

大日本平和協會の決議

被征服者の謬見を捨てよ

大日本平和協會では豫て朝鮮騷擾視察員を特派し情況調査中であつたが此の程評議員會を開いて左の意味の決議文を可決した

朝鮮騷擾の原因は近代思潮の誘導によつて點火されたものだから其の根本に逆上つて解決すべきものである一方商誘因に就ても研究する必要がある內地人殊に下層にある內地人が朝鮮に於て鮮人に對する態度も彼等の不平を釀成するそして內地に在る內地人の態度感想も正しいこはいへぬ是等內地人が**鮮人に對**する觀念の醜或は實に根抵が敎育にあるやうにも思はれる例へば

(イ)歷史敎育資料中の神功皇后三韓征伐、豐太閤の征韓等は國民性を養ふ立派な材料だが敎育者の觀念が因襲的習慣に囚はれて居たならば兒童に朝鮮を敵國視する觀念を植付けはせぬか

(ロ)そして朝鮮は彼征服地であると之を壓迫していゝさいふやうな考へを起させはせぬか

わが國が今日文明を輸入し非常な發達をしたのは過去に於て朝鮮が東洋文明を輸入したのも一因である、のみならず日鮮兩民族は人種を同じうし思

前にも殺し懸けた

實子殺し後聞

其犯行は實子を可愛いがつて居た

松山の實子殺しの犯人矢田貝百代(三九)は松山の高等女學校を卒業して貞淑の聞へがあつたが數年前より強烈なるヒステリーに罹り先頃も一子啓介を刺さうとした事があつた其後も啓介を可愛がる事は非常なもので自分が病身だからこ附るてるた啓介は學校の成績は惡いが**牛乳まで**啓介に與へてはゐなかつたが母を母こも思はぬ不遜の振舞が屢々あるので百代は人知れず我子の前途を憂ひてるた啓介を殺害する前に百代は前回の失敗を繰返すまいこ夜半襷をかけて出刄庖丁を磨ぎすまし斯くて決行したこ自白する處から見れば少しも

辯護士會が分離した

臨時總會で決定

京城辯護士會內地人辯護士側は過日長谷川總督に陳情書を提出し又監督當事者こも協議諒解を得て評議員會を開きたる結果十三日午後二時朝鮮ホテル內に於て臨時總會を開きたり會員六十一名中

出席者は內鮮人四十名にして一同着席するや議長席より起つて開會を宣し評議員會の決議せる左の議案

內地人辯護士會及び朝鮮人辯護士會を分設する事並に會則第十九條第九號に依り臨時總督に請願をなすの件

を上程し討議の結果採決に決する所て賛否を起立に問はんこせるも双方より必要なしこ云ふ議論出で

全會一致可決確定し安住君の發議にて議長より內鮮人各五名の實行員を擧げ之れを以て無事閉會を宣したるが閉會後倉君の發議にて會は分設を決議せりこ雖も双方親睦の必要上在野法曹倶樂部を組織し私交を溫むべしこ提議せるに全員贊成を表し一同萬歲を三唱し五時五十分會場を出で夫より龍山漢江に赴き舟遊會を催せり

仁川期米の狂騰

十四日は卅萬石餘の大取組

仁川期米の十四日後場は前場の沸騰を受け更に大阪の期米は高い朝鮮各地の正米は高値だから立合前より買氣旺盛に面總買の有樣を呈し賣物こては利喰ひ賣りにすぎぬので前場に比し一層高値が出で限月も同じく高値四十四圓六十五錢こ朝鮮米會有の値を示し前場の高値三十九圓九十錢に比し七十五丁高に前場の寄附き三十九圓五十錢に比し僅か一日の間**百十五丁の躍騰**を示した此の急騰は賣方の心膽を寒からしめマバラの軟派を顫へかけて落して終つた唯此上の踏騰は正米の實勢より見ても一寸困難かこ思はれるが人氣は買偏重の場面こて尙ほ脫線的に突進相場を現はすかも知れぬそれから十四日後場より取引所の賣買手數料を倍額に引上げたので賣買は大に減ずるだらうこの觀測だつたが何しろ期米界**稀有の活況**時こて後場ばかりで十三萬石の賣買を示し前場を加ふれば三十萬石以上の大取組を示してゐる尤も手數料引上影響は尙ほ五六日の場面見ねば何こも云へぬやうである

砂糖下る

と云ふ電報が這入つた

當業者は打消す

非常らずの砂糖相場が出同から一斤五十錢こ云ふ高値を出し更に五十錢臺を破らんこし居るので砂糖商は大成金だこ評判家は非常に閉口して居る矢先十二日深更內地から京城の二三商店に宛て『製糖相場が現在の四十七八圓より六七圓方暴落した』こ云ふ電報が這入つた從つて朝鮮の相場も下落し小賣も斤五六錢は安くなり四十五錢臺になるだらうこ一部では大騷ぎをして居る右に就き本町の澁谷商店で聞合せると『入電云々は嘘らしい當店からも照會しましたが製糖は四十七八錢を動かない相ですから小賣相場は依然動かぬでせう』中島商店では『內地相場で分蜜糖が七圓ばかり低落したらしいようですが朝鮮には影響ありませんこ云ふ

取亂した

[illegible]こ係員は語つてゐる近所の噂やら其筋の取調べなごを綜合するに家庭に大なる缺陷があつたに違ひない死者は語らず狂者の言は信ずべからず素より能九郎の言のみも信用が出來ない唯眞に知るものは神か佛か

窒扶斯には注射が好い

森安博士談

腸窒扶斯は殊の外厄介な病氣である發疹、パラ、腸等の種類があるが此病は他の傳染病、コレラ赤痢黑死病等に比しても多く厄介なる病氣であるから充分の注意を拂ふ必要があり其豫防には注射が一番好い注射さへすれば年に一回又は隔年位に行へば窒扶斯に罹る憂は絕對にない世人は豫防注射をするこ其反應の爲めに業務を休むこか苦痛を發へはせぬかこ心配して躊躇する樣だが今では注射も非常に進步して居るので發熱等の憂は毫もないから疾く之を實行するが宜しいこ云ふ

安東大相撲

二日目の盛況

安東合併大相撲の二日目(十三日)は從來の兩名殘なく晴たる好天氣に依然として強し午前七時より滿員こなりたる盛況の十俵入に引續き取組あり江勝こ伊吹山の勝負左の如し(安東特電)

勝		負
朝千鳥	寄切り	光風
釋迦ヶ嶽	寄切り	南龍
[illegible]嵐	寄切り	西の森
宇都宮	小手投げ	朝日嶽
鳥海	吊出し	綾川
逆鉾	吊出し	海甘
福柳	寄倒し	宮城山
稻の花	下手投げ	一湊
御西山	押切り	大泉
常の花	上手投げ	源氏山
大門岩	上手投げ	朝日山
大錦	吊出し	對馬洋
桁木山	寄切り	大錦

▲保養園へ寄附 不遇の內鮮子女を收容し之れを敎養しつゝある市內三坂通鎭會保育院京城支部の事業に對し最近左の通り寄附ありしさ
▲金壹百圓也尹致昊△金貳千貳百九十參圓貳錢(用途指定)大正倶樂部△金參百圓也吉留英一△金貳拾圓也(追善の爲)高橋可强松△金貳拾圓也某氏△金拾圓也(同上)某氏△金拾圓也(同上)長谷川漸△五圓也(同上)戶塚房吉△金貳拾圓也(同上)大塚眞卿△金拾圓也(同上)宇梶壯

◎鬼塚尙熊氏送別會 京城府庶務課長鬼塚尙熊氏は龍山出張所長として以來龍山の發展に努力する處尠からざりしが今回京城府庶務課長の要職に就きたる爲め有志は近く盛大なる送別會を催すべく又龍山十日會は記念品を贈呈すべく目下相談中

仁川期米 ▲十四日後場(益々沸騰) 前場で二十錢こ四十四丁の上放れに四十錢こ追擊せしも押目は買氣の當局者に於ても[illegible]め遂に四十四圓の大關門を突破し移して賣方の氣勢を挫きて刺戟されるが如[illegible]

二日
寄付 四十四圓二十錢
止値 四十四圓五十三錢
高値 四十四圓六十五錢
安値 四十四圓二十錢

神戶期米特電 [illegible]

東京期米特電 十四日後場 [illegible]

南滿取引所 [illegible]

血を增し 肉を肥し 體を强す
補血強壯
肥肉丸(ひにくがん)

効能
◎貧血病にて身體やせたる症
◎虛弱にて皮膚の色わるき症
◎神經衰弱にて夜眠り難き病並に諸病後の衰弱
◎心臟病にて色あを白く動悸亢ぶり顏手足はれ盜汗いで經不順なる症
◎黃疸にて總身黃色となる症以上各症に用ひ奏効顯著也
◎平素持藥として服用すれば健康保全の効あり

商標 ウサギ印 注意

價 三日分金五十錢 七日分金壹圓 十五日分金貳圓 卅日分金[illegible]

本舖 大阪市堂島元蜆橋 高橋盛大堂本店
發賣 同心齋橋筋博勞町 高橋盛大堂分店
同 東京市神田柳町 高橋盛大堂出張所
到る處の藥店にて販賣す

肺結核 肋膜炎藥

全國到ル處ニ取次ナス當寺內發行ノ諸肺病、肋膜炎、肺結核、肺尖加答兒、肺炎、藥ハ藥ト併用差支ナキニ至テ安全ノ名藥タル世人ノ皆ク知ル處ナルガ本劑ハ元來救世主義ノ賣藥ナレバ如何ニ重患モ若シ服用シテ無効ノ方ヘハ代金ヲ返戾仕ル規定ニ付十日分服用ノ上御通知ナク返金ノ請求相成度若シ取次人カ何カノ故障ニテ返金ヲ拒ム場合ハ町村長又ハ檀那寺ヲ經テ直接當寺ヘ御通知アレバ當寺ハ無効事實ヲ正シテ直ニ返金ス仍テ玆ニ謹告ス。散藥十日分四圓 十日分三圓半代金引替ノ外送料無料

發行元 長崎港口檢疫所附近極樂寺 振替福岡八〇六番

EUKIRIN

神經衰弱特效
ユーキリン

本品ハ營養ヲ增進シ神經衰耗ヲ補フヲ以テ神經衰弱。陰萎。營養不良。結核諸症。腺病。重病回復期ニ適ス

本品ハ帝國大學敎授本邦蛋白化學ノ泰斗タル鈴木博士創製ノ吸收性同化性燐劑ナリ

粉末 二五瓦入 金七拾五錢 錠劑 百錠入 金八拾錢

說明書アリ進呈ス 各地有名藥店ニテ販賣ス

東京室町 三共株式會社

淋病新藥
ゴノクロール

醫學士 楠太先生 藥學士 佐野義職先生 實驗證明 製造監督 (說明書進呈)

㊥純國產にして品質効力輸入藥に優る

(全國各地有名藥店にあり)

代理店 大阪道修町 藤澤友吉商店
發賣元 名古屋京町 小島合名會社
製造元 名古屋大池町 中央製藥合資會社

銑鐵 鋼材

▲鑄物用特一號銑
▲同一號銑
▲同二號(別)銑
▲同三號銑
▲製鋼用鹽基性平爐銑
▲荒

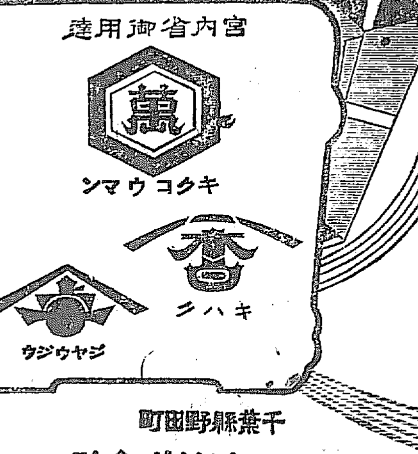
等級區分ペンキ塗色別：白線二本 白線 青線 赤線 綠線 吹入

三菱製鐵株式會社 兼二浦製鐵所

▲種類 鋼鈑、山型鋼及陸山型鋼 但し造船、汽罐、橋梁、建築用各種
▲寸法 鋼鈑 厚十六分三吋以上一吋 巾三呎以上六呎長サ三十二呎迄 山型鋼 三吋×三吋、三吋半×三吋半 四吋×四吋、五吋×五吋長六十呎迄 陸山型鋼 八吋×三吋半、九吋×三吋半長サ六十呎迄
▲規格 遞信省造船規格、帝國鐵道院規格、英國ロイド協會規格及一般無規格

副產物 中塊骸炭、小塊骸炭、微粉骸炭、硫酸安母尼亞、工業用硫酸、ピッチ、ナフサリン、輕油、中油、重油、耐火煉瓦、鹽洋煉瓦

謹告 品質吟味值段勉强御高需に應じ可申候間多少に拘はらず御注文願上候 尙銑鐵品位鋼材寸法表御請求被下候はゞ直に御送付可申上候



千葉縣野田町
野田醬油株式會社

みだれ咲き

第八十八回　島山碧波作　森田久畫

梅田を午後の八時三十三分に發した下の關行の特別急行列車が、阪神間の宵闇を衝て三ノ宮驛へ著いた時、河合家の令孃蓮子の傍へ席を讓られた青年紳士は、奇ッ怪千萬にインバネスの下から蓮子と握手を交して居るのであつた、互に言葉こそ交さないが、龍雄の眼が屆かぬ袖の下では不語の囁きが盛んに交されて居るのであつた。

『若樣、モウ神戸へ參りましたが是れから先は盲目の旅で少しも知ら無いので御座います』

暫らく話が途絶れて居ると、蓮子は龍雄に向つて馴れ/\しく話掛けるのであつた。

『僕も父と一緒に須磨明石に來たことがタッタ一度ありますが明石以西には一歩も踏出したことがありません』

龍雄は僞らざる告白をして左迄珍らしくもない夜の海を眺めると、淡路の島影が淡き燈影に沈んだ光りを波上に投げて、神戸を出帆した四國通ひの汽船が鈍き汽笛を鳴らして明石海峽の方へ走つて行く。

『さうでございますか、さうすると是れから先は二人とも淋しい旅ですわね』

蓮子は斯う云つて隣席に居る青年紳士に何か目配せをすると默して肯いた紳士は。

『お孃樣も若樣もズッと先まで行らつしやるのでございますか』

今まで默讀して居た中央公論を膝の上へ置くと、輕く頭を下げながら蓮子に言葉を掛けた。

『はい……』

蓮子は青年紳士から龍雄と姉弟のやうに言はれると、龍雄と一寸顔を見合て微笑を浮かべた。

『私もズット乘り通して參りますが下關まで行らつしやるのですか』

青年紳士は頗る眞面目の態度で龍雄に問ひを發した。

『僕達は明日の朝の聯絡船で京城へ行きます』

『夫は長途の御旅行ですな、私も秋風嶺まで參りますが、至極好いお同伴が出來ました』

青年紳士も二人と同じ連絡船へ移り秋風嶺へ行くことを告げた。

『秋風嶺と申しますと』

蓮子は怪訝の顔付きをして其の紳士に訊した。

『始めての御旅行では御存知の無いのも無理がありませんが、矢張り朝鮮で大邱と大田の間にある大きな停車場です』

『あら左樣でございますか』

悉しい說明を聽いた蓮子は、耻かしさうに頭を垂れた。

『貴郎も朝鮮へお出になるのですか、蓮子さん好いお同伴が出來て結構ですね』

冷たい世の荒浪に潛つたことの無い龍雄は、此の青年紳士の言葉を信じて恰好の同行者が出來たことを喜んだ。

『令孃、詰らぬ物ですが如何でございます』

青年紳士は大阪で求めて來たらしい西洋菓子を取り出して蓮子に勸めた。

『難有うございます、貴郎如何です、折角ですから頂戴なさいましな』

『難有うございます』

列車は既に白鷺城下を過ぎて岡山に向つて疾走して居た、さうして勸められた西洋菓子を一つ二つ口に入れた山中家の子息龍雄は、五分か十分と經ぬ内にウト/\と眠りに就てしまつた。

『お孃樣、若樣はモウお眠みですか』

『はい』と蓮子は一寸席を起つて龍雄に向ひ。

『若樣……若樣……』と、搖り起したが龍雄はモウ何にも知らずに無我の郷に遊んで居た。

『わ、此の通りよ』と云つて蓮子が以前の席へ腰を下すと。

『お蓮、旨く行つたな』

意外!、青年紳士は此の美人をお蓮と呼び捨てにして莞爾と笑つた。

新兵器(三)

參謀本部附　谷少佐談

恐るべきカラス瓦斯

榴彈は前述の如き交通壕中に於ける障害物を挾んで手投彈にて勝敗を決するに際して空に向つて發射すれば恰も其角度に依つて敵勢中心に

投下し爆發

するのであつて是れが効力も實に威大なるものがあるそれから光彈は夜中例へば敵兵が戰鬪準備の爲めに工事をなしてゐる折等是れに依つて闇中の狀況を照すのであるが若し此光彈を浴びせられた時に當つては直立してゐるものは其儘座してゐるものも其儘に不動の姿勢を取つて敵の目を掠むるより外はないのである又二段

三段に爆發

する光彈に依つて信號をなす等實に是等の進歩の大なるにも只管驚嘆せざるを得ない次第である傳書犬及び傳書鳩は卽ち通信に使用するのであるが裝甲自動戰車中にはよく鳩を潛ませて後陣との連絡の業をこなしてゐるが犬は是等傳書の外に死傷兵の處措に對して大なる功を奏するのである所謂行方不明の死傷兵を

鋭敏なる鼻

に依つて其の所在を知らしむのであるが茲に傳書鳩及び犬の教育方法に就ては實に趣味のあるものである我が國にも聽て千羽の傳書鳩が購入せらるゝのであつて何れ是が教育方法に就ては大いに研究せらるゝであらう毒瓦斯の供効は既に世人のよく知る處であるが毒瓦斯中に於ても最も恐るべきはカラス瓦斯である是のカラス瓦斯は無色無臭であつて一度射ち出すれば三日間位は同所に沈滯して

容易に消滅

しないのである而も無色無臭の爲めに其の有無を知る事も出來ず一と度是れに觸れたならば防備を施すに遑もないのであるそれから涙の出る瓦斯があつて是れを浴びたならば止め度もなく涙が湧出して物を凝視する事が出來なくなるのである兎に角最も恐るべきものは此毒瓦斯であつて戰時に於ても素破瓦斯だといへば戰場の後方十哩位の處に在る軍隊迄も一樣に防備をなすのである

我等の俳句

○　浮碧樓
鷄林の夏の月二階に荒々しく居つた
毎皿に盛られ主人がずん/\とつた
われトマトの紅き肉付きおろそかにせじ

○　芹郎
つゞくなぎさの脚をよせける波立ちぬ
曉の蚊帳出づ蚊帳の褪落こす
泳ぎつかれたるものゝ頭髮の光りなりや

○　山奥水
製糸工場等炎天の樹にふれてのさゝやき
夏羽織の夜の町幅の彼等よ

○　眞破
夏めく撒水車曳く人夫の勞働の一日
夕ぐれお前の顔がひごく燒けて食卓

○　金龜城
この子が俺になつかないで刈麥蒔さな

○　山郎
停車場口まで直射の日に來て朝餉の廊眼にふれた

○　鳥堂
唐辛の花が尋常な私のある朝
草の中の茨の道が岐れた

・○　不考郎
新麥運ぶ子等は子等の高聲
さみしい月で兄弟麥刈草を止めたり

＝五の日十の日合せ、一〇＝

日報歌壇

窓の追憶

＝女のうたへる＝　水島双葉(大連)

□彼の家の二つ並べる窓戀し一つは常に我の倚りにし

□[illegible]して在りし昔はまさぐりき窓掛の紐

□眼かけて彈くによろしきマンドリン習はむと云ひ夏も過ぎしか

□凍てつきし窓の氷も皆とけて夕は戀し君歸るころ

□溢れ來し涙を袖にうつせしも窓の是のみ君知らぬ事

□窓叩き居らぬかと云ふ我背子が友の白地の新しき服

□初戀の人を告げよと強ひたるも彼の窓掛けの片かげにして

□　玉置温子(京城)

狂ほしく心おごりぬ胸なりぬ我が思ふ人と會ひしたまゆら

やるせなく空を仰げば灰色の雲强りてたそがれにけり

再びは見じと誓ひて別れしを君なつかしくなりにける哉

□　阪上とみ子(京城)

快よしポプラの白き葉裏をば翻へし吹く初夏の風

□　藤・敏子(京城)

はるかなる君を思ひてこの夕高鳴る胸をそと抱きけり

夕されば故さもわかず窓に倚り讀居の君を思ひつゝ泣く

味氣なく君を恨みぬ根無しごとありなし事を人の告ぐれば

これやこのはかなき戀の終りかさあきらめつゝも君が文抱く

□　高ふく子(大連)

丈にあまる此の黑髮をいかにせむ亂れ心の惱ましき宵

たまさかの休みなればと母君の言葉に甘へ朝寢せしかな

○文藝雜誌耕房　子爵毛利碧堂同婦子夫人、久保博士より元子夫人、伊藤白蓮、南部蘆江、竹久夢二、長谷川涙花、吉田悲峰の諸歌人同人となり今回下關から文藝雜誌『耕房』を發行する事となり目下詩、短歌募集中なるが同雜誌は菊版形で裝幀は夢二畫伯が擔當する由尚ほ同雜誌後援者として歌壇の重鎭尾上柴舟、與謝野晶子、金子薫園、茅野雅子其他毎號寄稿する由發行所下關市宮田町三七一耕房社投稿締切は七月末日にて誌代三ヶ月分九十錢

○口腔衛生夏期講習會　東京ライオン講演會本部主催にて今夏東京府立第一高等女學校に於て開かるゝ同會は昨年の通り地方聽講者の爲め其出京實用の半額を給するの殆んど公共的事業なるが本年度の申込者は意外に中學師範等の中等程度の教育者連に多く却つて小學校教員に少なき傾向を示しつゝありと因みに同會聽講申込は本月十日を以て締切りたりと云ふ

後方の勢力

・櫻洞の六尺男よ汝は移轉以來舊居住者たる吾構内に一片の挨拶もなく机や瓦落苦數道具を放置して往來の大妨害をなす附近の迷惑居住者の苦情は聞かざるか新來たる汝が一東方の涼しき場所を占據し舊居住者は此暑氣に堪へず汝に立退を密議し居るを知らずや汝良心に慚づる所なきか(喰せ者退治生)▲古來賢は天下の樂に後れて樂しみ天下の憂に先ちて憂ふと謂へり是れ決して虛飾に非ず芭蕉翁は一年の杖一蓋の笠に老軀を託し炎熱・嚴寒の別ちなく能く日本國中を行脚して其の民の疾苦を察したり近時の官吏の首長等夏に安居飽食するもの豈鬼面にして人を嚇すものに非ずや(野の哲人)▲貴紙所載の錄隣錄は實に金玉の文字で吾人が修養上須臾も手放し難き座右銘である完結の曉は何卒單行本として是非上梓を願ひ度し裝釘も布製天金袖珍用として次に日報柳壇は評が誠に親切であれで作者も作り榮えがあり上達も早からうと思ふ吾等の俳句とか云ふ俳句は蔭張り判らぬ實感を貴ぶのは至極結構だが形式も整へ得ぬものか其他詩壇歌壇も賑やかだが慾を申さば尚此上狂句狂詩狂歌等の新生面開拓を願ひたいそして將來は時々懸賞小說時文小品などをも載せ第四面をして半島に權威ある文藝欄たるに至らしめたいものだ(大正青年)

上旬氣象概況

朝鮮總督府觀測所調査

[illegible]近に顯はれたる低氣壓の爲め中部以南に降雨あり特に南岸地方[illegible]感じ京仁附近より漢江流域に沿ひ[illegible]風に伴ひ夏期特有の豪雨を誘ひ[illegible]氣壓增高するに及び天候恢復し[illegible]に亘り良好なる天氣持續し[illegible]へたるか平壤元山以北の地方は著しき寡少にして其量一〇粍にして江陵地方は約三度の過低

東岸中部以南

は低溫[illegible]旬中の高極こす本旬中各地の雨量及氣溫を示せば

仁川	一四三	四	三三、九	三〇、五
全州	一〇六	六	三三、七	三一、二
木浦	六六	七	三二、二	二八、九
中江	七	二	[illegible]	[illegible]

大阪株式

(至急電報)

同新	一三三、〇〇	一二〇安
鐘紡	三七三、九〇	
瓦斯新	三五二、八〇	一、三〇高
東新	二六八、九〇	

◆十四日後場　正米前場制する値段[illegible]　當限 三[illegible]　中限 三[illegible]　先限 三[illegible]

どもり　特別講習會開催　八月廿四日より九月上旬迄　◎照會次第詳報　東京小石川第六天町五二　樂石社

梅毒　如神丸　治療藥　豫防藥
本社は特に警察部を設け良藥の規定の期間服藥せしめ以後は何等手數を要せず無代施療の責任を負ふ遠方の方には無代送藥すかくして重き責任を負ふ良藥は世界廣しと雖もかつてなし各位安心服藥せられよ!!!
(價定)試用四日分 四十錢　半週 六十五錢　一週 一圓二十錢　三週 三圓五十錢　豫防藥 一ヶ月分 六十錢　他に送料内地十二錢其他は六十錢
◎說明書御通知次第無代進呈　東京麴町區上六番町五六番地　香山製藥合資會社醫藥部　振替東京四三九二五番

●梅毒有無診定　診察時間　毎日午後六時より九時まで　診察無料　貧困者藥價無料　招魂社石段下車大橋圖書館前　香山製藥合資會社醫療部　電話九段三三二番

中風病ちう
余か家は祖父及び父と母の三人とも同病にて困難したる遺傳系統 續々得たる實驗の良方を悲しき世の方々に分ち試けて良藥の報恩のため千人を限り名士題字の書籍添附新聞名記入照會無代進呈
兵庫縣明石中町　加古忠兵衛

痔疾專門
京城明治町二丁目(本町より入る中央)
京城久枝肛門病院
電話二一〇二番

陸軍御用
各支店及全國有名なる藥店に販賣仕居候
萬一品切の節は本店へ御注文願上候
人參エキス
朝鮮京城本町
津村兄弟商會
電話一四八〇番　電話一八七〇番
振替京城三五一一番　電略(ツ)又は(ツ)ム

熊平特製
パレー萬年ペン
●貳圓以上拾圓迄色々
京城　熊平支店
■振替京城二二一番　■電話六二四番　■電話三一五五番